

事業概要【球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	624,572千円（63,327千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域等について、醸造食品産業の生産性向上やブランド再構築による地域産業の活性化、豊かな自然、文化等の地域資源を活用した観光振興等による交流人口の拡大、防災・治水対策等の専門教育の充実による人材の育成、災害弱者の避難支援体制の構築や豪雨災害の記録の収集・発信による地域防災力の強化に一体的に取り組み、創造的復興を強力に推進し、持続可能な地域の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○醸造食品産業の生産性向上と災害に強い体制整備 ・微生物の分離収集・解析・保管等の実施（需用費、使用料）11,267千円 ○球磨焼酎のリブランディング ・イベント・フェアによる球磨焼酎ファンの拡大（補助金）5,000千円 ・蔵ツーリズムによる誘客促進（補助金）3,000千円 ○森林資源活用による森林サービス産業の創出 ・森林サービス産業創出に向けたプラン作成、実証等（補助金、事務費）4,060千円    醸造食品産業の生産性向上と災害に強い体制整備		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①球磨焼酎の出荷量（+12,481kl） ②人吉・球磨地域の延べ入込客数（+3,005,500人） ③外部人材(高度な測量技術者、宮大工等)と連携した教育活動の実施数（+51回） ④アーカイブ化のための資料収集体数（+20万件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【くまもと型オープンイノベーション推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	222,100千円（30,905千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	県内企業を中心とした産学官金等の連携によるオープンイノベーションを促進するための連携体を構築するとともに、連携により生まれる新製品や新技術の事業化に向けて、資金面等からの支援を実施することで、ウイズ・アフターコロナ時代の新たな社会環境にも対応したビジネスや本県の「強みとなる産業」の創出につなげ、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○オープンイノベーションに必要な連携体の構築等の支援 ・県内企業と大学が有する技術シーズなどから将来有望なテーマの掘り起こしや支援の実施（委託料）9,056千円 ・食と健康、医工連携に係る専門知識を有するアドバイザーを配置し、県内企業の商品開発や国内販路開拓を進めるための助言（委託料）1,750千円 ○製品・技術開発への支援 ・新たな製品や技術の開発を支援（補助金）20,000千円  半導体サプライチェーン強化 合同研究会		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロジェクトにおける共同研究等の件数（+18件） ②戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）等の採択件数（+11件） ③プロジェクトにより課題解決につながった件数（+300件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による 阿蘇地域の持続的発展プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	439,709千円（95,478千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	これまで進めてきた草原の保全・維持の取組みを、SDGsを原動力に、「環境」・「経済」・「社会」の3つの側面から統合的に深化させながら、「環境の保全」「農畜産業の振興」に加え、「関係人口の増加」「交流人口の増加」「移住定住の促進」「シビックプライドの醸成」を図り、阿蘇地域の持続的な発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○持続可能な草原維持システムの構築 新たな担い手の掘り起こしや活動支援等（委託料、補助金） 8,014千円 ○放牧草地の生産性維持・担い手確保の促進 ・放牧サポーターの就農・移住定住に向けた支援等（補助金） 3,434千円 ○世界文化遺産登録に向けた理解醸成・磨き上げ ・「阿蘇」の世界文化遺産としての価値の整理に向けた学術検討や 現地視察、ワーキンググループの実施（委託料、一般需用費） 28,683千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①草原再生面積（野焼き放棄地における再開地面積及び未利用牧野における放牧再開面積）（+1,005ha） ②阿蘇草原応援企業サポーター認証企業数（+60社） ③草資源を活用した農産品に係る“食の体験”イベント参加者数（+2,780人） ④阿蘇地域が「世界文化遺産登録」を目指していることについての地元住民等の認知度（+60%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html



事業概要【地域の農林水産業を元気に!くまもと県南フードバレーの
推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	792,035千円（123,273千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	豪雨で被災した県南地域の創造的復興及び地域の活性化推進のため、地域経済を牽引する「人材づくりと体制づくり」を推進するとともに、地域農産物を活用する地域事業者が行う「売れるモノづくり」や「強靱な販路づくり」を支援することで、県南を支える農林水産業の持続的発展を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○県南フードバレーを支える人材づくりと地域を牽引する体制づくり ・若手経営者や経営者への講座（経営塾）の実施や受講者を中心とした新ビジネス創出支援（負担金）5,600千円 ○地域経済牽引事業者への重点的な支援 ・海外展開やインターネット通販強化等の多角化を目的とした施設整備や設備投資等に要する経費の支援（補助金）74,533千円 ○地域事業者の販路多角化支援 ・大都市圏等における展示商談会への出展支援や地域事業者と首都圏等バイヤーによるオンライン商談の推進（負担金）16,840千円	 人材育成（経営塾）  施設整備(無洗米装置及び少量計量包装機)	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当事業の支援により施設整備等を行った地域経済牽引事業者及びその地域経済牽引事業者との取引額が多い促進区域内事業者の売上合計額の増加額（+1,530,400千円） ②地域経済牽引事業者及び地域事業者による新規取引（契約）件数（+200件） ③地域経済牽引事業者及び地域事業者による海外企業との新規取引（契約）件数（+15件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【くもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト】旧制度（推進）

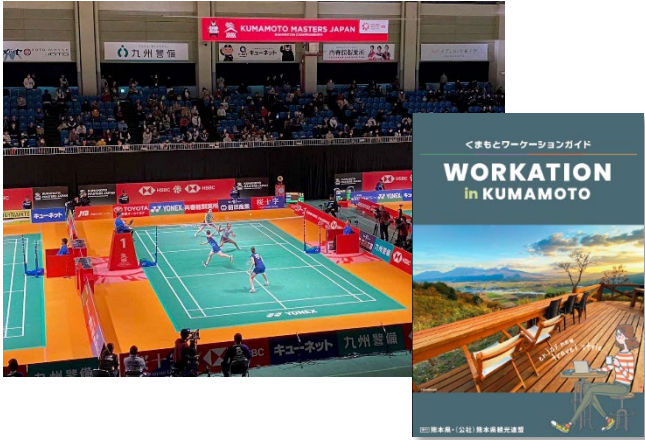
申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	655,159千円 (81,120千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	デジタルの視点を取り入れたマーケティング手法の確立や、周遊性・滞在性の更なる向上、民間活力を活用した魅力的な観光施設の整備といった、スマートツーリズムの仕組みづくりと地域の魅力向上・観光の高質化に取り組み、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○デジタル技術を活用した観光マーケティング手法の確立 ・コンテンツ制作、デジタルプロモーションの実施・分析等（負担金）28,620千円 ○スマート観光交通体系構築推進事業 ・観光と交通の構築・改善に必要なデータの整備・収集等（負担金）20,974千円 ○地域の活性化を牽引する観光拠点づくり ・宿泊施設、観光施設及び観光消費拡大につながる特産品製造施設等の整備への補助（補助金）10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客への現地調査における、本県観光プロモーションコンテンツによる本県観光客への上乗せ数（+473,600人） ②事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設における地域在住者雇用者数（+26人） ③事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設をめぐる旅行商品プログラムの造成数（+29本）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html



事業イメージ

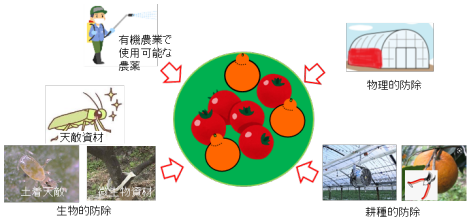
事業概要【国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県、熊本市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	481,491千円 (91,152千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	2019年の大規模国際スポーツ大会のレガシーを引き継ぎ、更に積み重ねることで、交流人口拡大と地域活性化を図るため、本県が強みを持つバドミントンの国際大会の定期的な開催を目指す。さらに、社会の変容に応じたワーケーション等の新たな観光スタイルに対応し、県内周遊促進や新たな交流・関係人口の創出を図ることで、国際スポーツ大会を起爆剤とした持続的な経済効果を生み出す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○国際スポーツ大会の開催 ・国内外の選手・スタッフ及び観客等を円滑に受け入れるための大会運営の実施（負担金）65,526千円 ○国際バドミントン大会での熊本でおもてなし促進事業 ・インフォメーションセンターの設置、選手・役員や観戦客への誘導対策等（負担金）13,333千円 ○新たな観光スタイル促進事業 ・専門的知見を有するアドバイザーの派遣及び地域と企業とのマッチング人材の育成（委託料等）1,452千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①国際大会の観客数（+39,000人） ②熊本県ワーケーションネットワーク参画事業者等数（+90者） ③滞在・交流プログラム利用者数（+340人）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【「グリーンエボリューション（緑の進化）」への挑戦！
環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	526,499千円（80,973千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	「環境にやさしい農業の高度化」と「稼げる農業」の両立により、持続可能な農林水産業への進化「グリーンエボリューション」を実現し、食料の安全保障を強化するとともに、地産地消による消費意欲の向上と新たな販路開拓等による競争力の強化により、地域における経済の自立的好循環を促し、SDGsの理念に沿った魅力的で持続可能な地域づくりを行うことで、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○有機農業技術の確立と地域環境づくり ・病虫害防除技術の実証等（委託料等）15,823千円 ○地産地消やSDGsに対する機運醸成と消費意欲の向上 ・地産地消推進基盤の強化等（委託料等）14,089千円 ○商品の磨き上げとマーケティング力の向上 ・テストマーケティングの実施等に対する補助（補助金）7,667千円 ○首都圏等への販路拡大 ・首都圏百貨店と連携した熊本フェア開催等（委託料等）21,613千円  施設園芸(トマト)やカンキツ栽培における有機農業に即した病虫害防除体系の確立  熊本フェア		
KPI	①有機農業に取り組む農業者数（+139人） ②県地産地消ホームページの閲覧数（+17,300PV） ③伴走型支援を行った中小企業者のうち、支援を実施する前年度から、経常利益が年率1%以上向上した中小企業者数（+160社）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	646,192千円（96,944千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	阿蘇くまもと空港周辺地域を拠点に、熊本の強みであるライフサイエンス分野（医療、健康、農業等）を中心とした新たな産業の創出を目指す「UXプロジェクト」を推進する。併せて、空港における国際航空貨物輸送の実現に向けた取組みや2023年春の新ターミナルビル供用開始に向けたPR等を展開し、空港の機能強化や周辺地域の拠点性向上、さらには将来にわたる本県の持続的な成長につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○UXプロジェクトの推進 ・各種イベントの開催、情報発信（委託料等）2,096千円 ・マッチングプログラムの実施、協業等を促進するコーディネーターの配置等（委託料等）49,078千円 ・テクノロジーパーク内の先行的な交流拠点施設の管理運営（委託料及び賃借料）30,074千円 ・支援機関、大学、民間事業者等と連携した研究開発型スタートアップの掘り起こしや創業、研究開発支援（委託料等）15,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UXプロジェクトの取組みに係る企業等のマッチング・協業件数（+32件） ②UXプロジェクトの取組みに係る企業・団体等の参画数（+260者） ③阿蘇くまもと空港の利用者数（+371万人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html



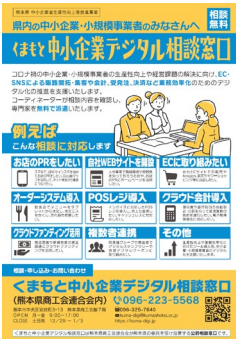
事業概要【世界のマーケットへチャレンジ！ 新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	312,266千円（35,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	県内における自然共生型産業の売上額等を更に拡大するとともに、海外への積極的な販路開拓・拡大など新たな事業展開を図るため、「新規事業創出、既存事業イノベーションへの支援」、「デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援」、「輸出障壁への対応に係る支援」の3つの柱で、本県におけるイノベーションを活性化するエコシステムの形成を推進し、地域経済を活性化させることで、地方創生を深化させる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○輸出先進モデル育成支援 ・輸出規制対策や新市場開拓等の先駆的取組に挑戦する個別事業者への支援（補助金）7,000千円 ○デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援 ・地域の事業者への高い経済波及効果が見込まれる事業に対する支援（補助金）28,000千円 ※以下のような地域経済牽引事業への支援を想定 ・AI・IoTを活用した実験動物の行動解析システムの開発 ・塩分吸着技術を利用した商品の開発・製造設備の導入 ・食品製造工場におけるDX化を推進し情報流通の適正化		
	 商談会の様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額（+669,900千円） ②オープンイノベーションプログラムによる県内企業と外部機関との協業数（+15件） ③規制市場へのチャレンジによる県内事業者と海外市場との新規取引件数（+45件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	603,677千円 (91,306千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	熊本地震、令和2年7月豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ中小企業者の事業継続と発展を推進することにより、企業の魅力向上を図るとともに、県内の優秀な若者の育成・地元定着、外国人受け入れのための環境整備による人材確保を図り、県全体の経済の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○中小企業者経営改善等推進事業 事業者への専門家派遣や相談会等の開催（委託料）52,000千円 ○中小企業生産性向上等推進事業 ATやIot等を取り入れた生産性向上のための支援（委託料）20,639千円 ○熊本スーパーハイスchool構想 先端記述の関連企業や大学教授等の講師費用等（報償費、使用料等）4,998千円  デジタル相談窓口 ポスター  中学生向け パンフレット		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を活用した事業者のうち、前年と比較して財務状況が好転した事業者数（+960社） ②DX（デジタル化）のために専門家を活用（派遣）した事業者数（+3,600社） ③県立高校の連携先企業等の数（+34者） ④外国人雇用事業者数（+390社） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html		

事業概要【くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト】

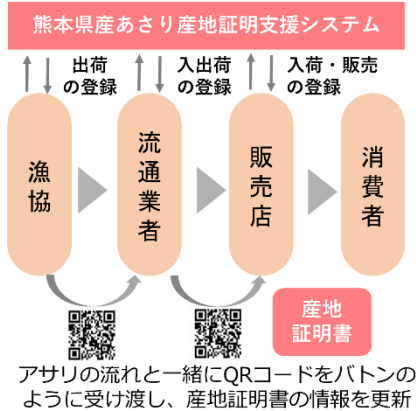
旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	280,363千円（45,314千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	DX（デジタルトランスフォーメーション）を熊本の将来の発展につなげるため、産学官が連携してDXを推進する共通の羅針盤となる「くまもとDXグランドデザイン」を令和3年度に策定。このグランドデザインに基づく取組みの裾野を広げるため、推進体制を整備し、取組事例を蓄積・横展開することで、県内におけるDXの機運醸成に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○DX推進に係るコンソーシアムの運営 ・コンソーシアムの運営（オープンイベント、商談会等マッチング支援に係る取組み等）（委託料）27,934千円 ○DX人材育成 ・社会人を対象とした実践型の研修（委託料）6,000千円 ○農業生産へのデジタル技術の導入 ・生育データの収集・分析、気象データと連携した栽培管理等（委託料）1,930千円 ・スマート機器と一体となった農作業の省力化実証のためのスマート機械の導入支援（補助金）9,400千円		 DXセミナー  次世代型果樹園モデル実証
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①DXグランドデザインに基づく取組みプロジェクトの数（+70件） ②コンソーシアム参加団体数（+200団体） ③イチゴ「ゆうべに」の作付面積（+20.4ha） ④実証経営体におけるデコポンの出荷率（+12%）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【熊本型フードバリューチェーン構築による稼げる農林水産業の実現プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	407,051千円（62,475千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	農林漁業者の所得向上のため、生産から販売までの各事業者の連携による付加価値創出等、フードバリューチェーンの最適化に取り組むとともに、生産性向上、生産コスト削減、販売ニーズに応じた安定供給等、持続可能な生産体制の構築に取り組む。また、国内での流通体系の確立、輸出に対応した商品づくりやプロモーション等販路拡大に取り組み、稼げる農林水産業の実現、ひいては「日本の食料安全保障の一翼を担うまもと」の実現と地域活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○フードバリューチェーン構築支援 ・選果場等における作業効率化のための人材育成、機能強化につながる機器の再配置・機材導入経費（補助金等）640千円 ○国内でのあさりの流通体系「熊本モデル」の確立や認知度向上 ・「熊本モデル」の整備・運用（負担金）10,008千円 ○農林水産物・加工食品の更なる輸出拡大 ・台湾向け輸出に取り組む事業者への支援（委託料）10,000千円 ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI	①事業の実施により、フードバリューチェーンの課題解決につながった取組みの割合（+86.1%） ②熊本県産あさり販売協力店舗数（+1,745店舗） ③輸出支援コンシェルジュによる事業者支援数（+37件） ④ブリ人工種苗の試験生産を開始した種苗生産施設（+4件） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		



関連URL

（交付金の具体的使途・実施体制）
令和7年9月公表予定
（効果検証）
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html>

事業概要【地域資源のリブランディングとインバウンド強化による 地域活性化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	272,658千円（61,600千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	コロナや災害といった外的要因により、著しく活力が低下している地域資源のリブランディングに取り組むことで、本県ならではの価値を明確化させ、観光地としての基盤を固めるとともに、SDGsをテーマとした高質かつ新しい教育旅行の受入体制強化や、観光関連データの「見える化」によるDXの推進に、県と観光事業者、地元関係者等が一丸となって取り組むことで、熊本の魅力・ブランド力を高め、熊本への誘客を推進する。併せて、水際対策の緩和によるインバウンドの再開に加え、半導体受託生産最大手であるTSMC（台湾）の熊本進出を受け、本県における最重要市場となった台湾との更なる交流促進と、台湾からのインバウンド誘客強化を通じた地域経済の活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○地域資源のリブランディング ・不知火海の魅力発信（委託料）30,000千円 ○台湾教育旅行受入体制構築事業 ・受入検討会、学校意識調査、マッチング対応等（委託料）8,500千円 ○台湾インバウンド誘客強化事業 ・マーケティング、情報発信、現地旅行会社セールス等（委託料）15,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①熊本県の外国人延べ宿泊者数（+342,000人） ②熊本県の教育旅行宿泊者数（+43,500人） ③観光DMPを活用して立案・実行・結果集約・評価された観光関連施策の事業数（+120事業） ④不知火海の魅力発信動画のYouTubeの再生回数（+200,000回）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

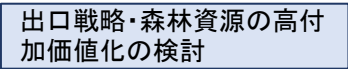
事業概要【シリコンアイランド九州の復活へ！
ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	434,636千円（143,897千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	台湾の世界的半導体メーカーであるTSMCの国内初となる新工場建設というビッグチャンスを生かし、半導体関連産業等の将来を担う人材の育成、新工場周辺地域の渋滞・交通アクセスの改善、ゼロカーボンの推進、国際的な教育環境の整備等に取り組むことで、県内への波及効果を最大化させるとともに、将来的にはシリコンアイランド九州の復活につなげ、半導体の安定供給を通して日本の経済安全保障に貢献する。		
事業概要・ 主な経費	○県立高校の半導体関連人材育成 ・学校が実施するキャリア教育に係る費用の支援等（委託料等）32,076千円 ○公共交通利用促進に係る取組み支援 ・公共交通の利用促進に取り組む企業等への支援（補助金）2,000千円 ○国際的な教育環境の整備 ・インターナショナルスクールの整備促進（補助金）106,387千円 ※経費内訳はR7年度事業費		 半導体関連人材育成  インターナショナルスクール
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①当事業の高校生向け教育プログラムへの延べ参加生徒数（+21,100人） ②インターナショナルスクールの児童生徒数（+65人） ③セミコンテックパーク周辺企業の公共交通通勤者数（1日あたり／年平均）（+950人） ④当事業によってアグリゲーター事業を開始した事業者数（+1者）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【五木村の「宝＝森林資源」をフル活用した“ひかり輝く”新しい五木村の実現！グリーン成長加速化総合対策プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県、五木村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	245,890千円（49,985千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・五木村の豊富な森林資源や県有林をフル活用し、適切な森林整備を実施しながら、林業の川上から川下までの森林資源の高付加価値化、林業担い手の確保・育成や所得向上等など林業施策を核とした取組みを推進。 ・さらに、これら取組みをモデルとして、林業関係者をはじめとした様々な関係者と連携を図りながら、県内の同様の課題を抱える地域に横展開・普及して五木村だけでなく他地域の地方創生にも繋げる。		
事業概要・ 主な経費	1 循環型林業の構築を通じた林業の活性化 8,635千円 ・共同管理など様々な森林管理手法の調査 ・低コスト・花粉症対策再造林技術の有効性等の実証調査 2 林業を支える「人財」の発掘・育成 23,250千円 ・自伐（型）林家の自立に向けた支援 ・林業DX人財育成のためDXアドバイザー派遣や研修会の開催等 3 森林が生み出す新たな利益の最大化 18,100千円 ・マーケット調査と森林資源利活用の検討等 ・端海野キャンプ場内の施設改修・再整備設計		 地域一体となった森林管理手法の検討  低コスト造林に繋がる機械等の新技術の活用  自伐（型）林家の定住促進  林業DXの推進  村内の人材の活用と村外の企業等と連携  出口戦略・森林資源の高付加価値化の検討
KPI	①熊本県における農林水産就労者数（+9人） ②五木村の再造林率（+20%） ③五木村の素材生産量（+4,196m3） ④五木村の林業事業体におけるDX技術導入事業体数（+3者）		（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定（効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【半導体産業と農業の共存共栄！くまもとの産業持続化環境整備プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	388,272千円（122,549千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	国家プロジェクトでもあるTSMC進出をはじめとした半導体産業の集積による経済発展と環境保全を両立できるよう、水資源の保全や環境負荷の低減に取り組むとともに、農地の確保・担い手の確保育成や畜産業の生産性の向上に取り組むことで、本県の基幹産業である農業の持続的発展につなげ、半導体産業と農業の共存共栄を目指し、県土の均衡ある発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○地下水保全等 ・周知啓発（委託料）5,910千円 ・半導体関連企業の集積に伴う地下水保全対策の検討等（委託料）11,000千円 ○環境負荷の低い半導体製造装置の開発 ・低環境負荷型半導体製造装置の開発支援（一般需用費）1,028千円、（備品購入費）9,185千円 ○地域の特徴を生かした稼げる農業の確立 ・高能力な肉用雌牛群及び乳用雌牛群の整備（28,764千円） ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI	①熊本県における農林水産出荷額（+4,018,748千円） ②県有種雄牛の選抜頭数（+2頭） ③プロジェクトにおける知的財産化件数（+2件） ④地下水の人工かん養量（大津町及び菊陽町）（+310万m3） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【若者の定着・関係人口創出プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	188,454千円（62,818千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	本県の将来を担う高校生を中心とした若い世代を対象に、地域をフィールドとした課題解決学習や伝承芸能活動を通して地域への愛着を育み、若者の地元定着を図るとともに、県外在住者に対して本県の魅力を発信し、熊本ファンの獲得や地域活動参画へのマッチングを行い、関係人口の創出・拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○小中学校までの子どもへのアプローチによる地域への愛着形成 ・伝承芸能団体の地域間交流への支援、芸術家等による指導等（会場使用料、謝金等）2,000千円 ○関係人口創出事業 ・地域活動への参加希望者と地域をマッチングする仕組みの運用等（委託料）33,762千円 ○福岡県における関係人口強化事業 ・福岡県における県内市町村PRイベントやマッチングイベントの開催（委託料）10,000千円  関係人口創出のためのPR・マッチングイベント		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+90人） ②子どもたちによる地域間交流団体数（+5団体） ③マッチングシステムを活用して地域活動へ参画した人数（+120人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【くまもと新時代を勝ち抜くための企業成長プロジェクト】

申請者	熊本県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	589,754千円 (207,589千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	地域課題である人手不足解消に向け、外国人材を含めた人材の確保・育成に取り組む。また、CSRやCSV、DX・GX、異分野参入等により企業価値を高めることにより、県内企業の競争力向上・成長を促し、変化の時代を生き抜く力強い企業の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【ソフト事業経費】 ○「外国人材に選ばれる熊本」推進事業 16,142千円 ○建設産業担い手確保・育成事業 23,200千円 ○データ活用による地域課題解決事例創出事業 15,000千円 ○阿蘇グリーンインフラモデル形成支援事業 28,480千円 ○企業と社会のサステナビリティを実現する人材育成事業 7,809千円 ○シンカ企業創出推進事業 21,075千円 ○県内製造業参入促進支援事業 11,108千円 ○中小企業半導体関連技術PR事業 9,775千円 ○企業誘致促進事業 20,000千円 【施設整備・事業設備・備品経費】 ○シンカ企業創出推進事業 50,000千円 ○企業誘致促進事業 5,000千円 ※経費内訳はR7年度事業費					熊本県 日本人 外国人材 地域住民 学生 バスツアー・交流会 技能実習生 特定技能 交流 継続 相談・生活支援 暮らしやすさ・愛着・友情 熊本への定着 半導体製造装置産業 への新規参入支援 1.企業訪問 2.セミナー 3.専門家派遣 4.マッチング 半導体サプライチェーン参入 ※「外国人材に選ばれる熊本」推進事業 イメージ図 ※県内製造業参入促進支援事業 イメージ図	
地域の多様な 主体の参画	・市町村：くまもとデータ連携基盤の共同運用 ・金融機関：（公財）肥後の水とみどりの愛護基金について、関係職員の派遣や資金面での援助を行うなど当該基金が自走できるための支援 ・外国人材：交流イベントに参加した外国人材からの意見を吸い上げ					KPI	①製造品出荷額等（+7,583億円） ②外国人材雇用事業所数（+1,039社） ③データを活用して地域課題解決に取り組んだ企業・団体数（+30社） ④阿蘇の水源涵養に着目した評価指標に基づく企業等からの寄付金額（+4,500万円） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【稼げる農林水産業の実現プロジェクト】

申請者	熊本県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	589,576千円 (191,066千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		事業分野	農林水産分野
目的・効果	人口減少・生産基盤の弱体化による本県の農林水産業の競争力低下・県内需要の減少が懸念される中、労働生産性を高めるとともに、地下水に支えられた安心・安全な農林水産物について、首都圏等の消費力と多様な消費者ニーズをとらえたブランド化や加工品開発などの高付加価値化につなげるなど、生産から販売に至るまでの課題に対応した取組みにより、新たな付加価値を生み出し、稼げる農業の実現を目指す。							
事業概要・ 主な経費	○デジタル技術の活用による生産性向上 ・スマート農林水産技術に関する研修等の開催（委託料等）4,294千円 ○高付加価値化に取り組むコンソーシアムの組織化・育成 ・コンソーシアムが取り組む施設整備・機械導入への支援（補助金）85,208千円 ○県産ブランド畜産物の特長に応じた供給体制構築 ・くもと黒毛和牛等の首都圏への生体出荷支援（補助金）16,950千円 ○農産物や加工品の安全・安心の確保 ・PFAS分析、有害物質吸着材開発及び実装支援（備品）10,724千円						デジタル技術の活用による生産性向上 	
※経費内訳はR7年度事業費								
地域の多様な 主体の参画	・農林水産業者等：連携し、生産性の向上、需要に応じた生産物の供給を行い、稼げる農業の実現を目指す。 ・市町村：農林水産物の高付加価値化に取り組む事業体のマッチングや、コンソーシアムの組織化及び組織化後の活動の調整を担う。 ・地元の高校・大学：分析技術の確立や除去剤開発に関する技術支援を担う。 ・金融機関：スマート農林水産技術の活用に必要な取組みに対し、農業者等に資金（スマート農業技術活用促進資金）融通を担う。						KPI	①稼げる農業経営体（販売金額1,000万円以上）の割合（+5.3%） ②スマート技術研修等参加者数（+100人） ③農業生産関連事業の年間販売金額（+105億円） ④くもと黒毛和牛の東京食肉市場出荷頭数（+298頭）
							※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【地域の歴史・文化による魅力創出・周遊型観光地化プロジェクト】

申請者	熊本県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	232,798千円 (75,348千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 観光振興による地方創生を実現するため、インバウンドの誘客強化、歴史・文化等の固有資源の活用、地域で一体的に取り組むための体制の構築等を通して、周遊型観光地を形成し、収益力を高めて持続可能な観光地域となることを目指す。 - さらに、交流人口の拡大に伴い身近な存在となった外国人との共生に向けて、地域における多文化理解を深めると共に、外国人に対しても地域に根差した文化を発信・理解してもらう取組みを進める。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 - 観光レップを活用した誘客拡大事業（委託料）5,300千円 - クルーズ船寄港効果向上事業（負担金）5,960千円 - くまもと文化集積・発信事業（委託料）5,000千円 - 伝統的工芸品販売力強化等支援事業（委託料）11,340千円 - 地域の魅力発掘事業（委託料等）2,478千円 - 文化観光拠点推進事業（委託料等）2,140千円 「肥後藩絵図」デジタル化推進事業（委託料）4,730千円 - DMO等の人材育成・体制構築（補助金）30,000千円 - 市町村多文化共生伴走型支援事業（委託料）7,000千円						
地域の多様な 主体の参画	- 観光関連団体：各事業の実施に向けた助言や関係機関との調整支援。各事業の進捗等を踏まえ、助言や既存事業との連携等による効果拡大を図る。 - 市町村：各地域での事業の実施主体や調整役。県と連携し、各地域における事業主体として観光誘客や多文化共生の取組みを進める。 - 地元大学教員：専門的助言を通じた支援。文化観光事業への反映に向け、専門的助言をもらう。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+577億円） ②訪日韓国人延べ宿泊者数（+70,500人） ③富裕層向けクルーズ船の寄港数（+15件） ④デジタルアーカイブへのアクセス数（+6,400件）

事業概要【創業支援と地場企業の強化によるくまもと創生プロジェクト】

申請者	熊本県熊本市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	622,574千円 (146,181千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・創業や起業支援による新たな産業の創出や企業の技術革新の支援により地域に活力を生み出す。 ・質の高い多様な雇用の場を創出することによって若者の転出を抑制し、若者が活躍するまちを実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○創業支援 ・市内のスタートアップ等に対し、伴走型支援プログラム等の成長段階に応じた様々な支援を実施するとともに、成功事例の創出や関係者の巻き込み等を行い、市域内で起業家が絶え間なく生まれる仕組みを構築（委託料ほか）60,894千円 ・起業の普及啓発や創業機運の醸成を図り、起業家の裾野を拡大（負担金、事業費補助金）9,000千円 ・「くまもと森都心プラザビジネス支援施設」を本市における創業支援の中心として位置づけ、スモールビジネスからスタートアップ等まで幅広い支援を求める創業者が集い、繋がる場を創出（委託料）8,000千円 ○技術革新等の支援 ・地場中小企業等の高付加価値化に繋げることを目的とし、産学官連携の強化や、新製品・新技術の研究開発等の支援を実施（事業費補助金ほか）44,287千円 ・デジタル化などの新技術への対応や導入支援を行うことができる人材の育成を行うため、セミナー開催やデジタル技術の活用に向けた伴走支援などを実施（委託料ほか）24,000千円						
地域の多様な 主体の参画	スタートアップエコシステムの構築のため、熊本大学や熊本日日新聞社と連携し、起業気運の醸成から事業が自走するまで成長段階に応じて必要な支援を提供するとともに、JETROと連携し、海外展開や海外企業とのオープンイノベーションの促進を図り、ロールモデルとなるスタートアップを育成する。					KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①くまもと森都心プラザビジネス支援施設を契機とした創業者数（+18人） ②支援事業を通じたスタートアップ等による資金調達件数（+60件） ③支援事業を通じた製品化・事業化件数（+14件）

事業概要【花とみどりの魅力ある「森の都」再生プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県熊本市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	317,400千円（73,400千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	緑を感じる都市空間の形成や更なる賑わい創出、市民一人ひとりの緑化活動の向上等を図り、魅力ある「森の都くまもと」ブランドの再生を実現することで、花や緑を通じた中心市街地の活性化と回遊性の向上による交流人口の拡大や、地域の魅力や特性を生かしたまちづくりを推進し、ひいては将来的な移住・定住の促進に繋げる		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 第38回全国都市緑化くまもとフェア実行委員会の組織母体を前提としたくまもと花博実行委員会を設立し、熊本市内を中心に県内の花や緑を活用し、関連する観光情報を発信する土台を形成し、花のまちづくりの推進、さらに、熊本の魅力や地域資源を広くPRし知名度の向上を図る。 【主な経費】 花や緑を活用し、潤いと癒し、緑の豊かさを創出し魅力ある「森の都」を演出する。また、併せて、緑化の取組の紹介など広報活動も積極的に行い、市民の緑化意識を継続的に維持・高揚させていく ・都市空間緑化創出事業（委託料）41,400千円 - 身近にある花や緑を知って学び、遊んで親しむ体験を通して、自然（資源）のあり方や利活用を考え、身近にある自然との新たな向き合い方を発見する事業を実施する。 ・花や緑の体験に関する事業（委託料）18,000千円 - 市民（ボランティア等）協働の修景花壇設置や、緑に関する講習会等の参加機会を提供することで、緑の大切さや緑化に関する知識の普及、既存ステークホルダーの意欲向上や、森の都を築く新たな担い手の育成を図る ・ステークホルダー育成事業（委託料）14,000千円  中心市街地の活性化 回遊性の向上による交流 人口の拡大 地域の魅力や特性を 生かした まちづくりの推進 将来的な移住・定住の促進		
KPI	①中心市街地における1日当り本イベント最大参加総人数/休日 （ボランティア・市民団体キャスト含む）（+44,765人） ②花と緑に関連する熊本市全体のボランティア団体数や市民団体数 （+25団体） ③中心市街地における緑視率の割合（+7.15%） ④スポンサー花壇における協賛企業数（+10社）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=24969

事業概要【民間活力を活用した健康づくり（介護予防）事業】

旧制度（推進）

申請者	熊本県熊本市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	95,000千円（29,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 誰もが健康で生きがいを持って暮らすことができるまちの実現のためには、早期の健康づくりや介護予防の取組の推進による健康寿命の延伸が急務であり、健康志向の低い市民にも訴求し健康リテラシーの向上を図る。 - 誰でも気軽に、自主的に健康づくりや介護予防に取り組むことができる持続可能な環境を構築することで、誰もが生きがいを持って自分らしく健やかに暮らすことができるまちの実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○民間活力を活用した健康づくり（介護予防）教室の実施 - 理学療法士等の監修により開発した専門プログラムをプロスポーツチーム等と連携して実施 - 実施人数450人（年間14会場、1クール：3か月） - 対象年齢を年々引き下げ（R7年度は40歳以上）、より早期からの生活習慣改善を促進 - 成果連動型民間委託契約方式（PFS）によるプロジェクト ○プログラム終了後の活動継続の支援 - プログラム実施前後の運動機能評価により、効果の見える化を実施 - プログラムを通して収集したデータ等に基づき、終了後の個別プログラムを提案 - 多様な運動継続の場（通いの場を含む。）への移行を支援 ○委託料総額29,000千円 【内訳】 - 事業実施費用（運営費、広報費、管理費等） 23,000千円 - 成果連動型支払額3,000千円・事業全体の効果検証 3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①厚生労働大臣が定める「基本チェックリスト」の改善（運動機能に関する質問項目5項目のうち、3項目以上の該当者が、2項目以下となる）（70%の改善率）（+75%） ②運動習慣がない者のうち、運動習慣を持つようになった者の割合（+65%） ③プログラム参加者の参加率（+75%）	関連URL	熊本市検証委員会について https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=24969



事業概要【国内外からの観光客誘客促進事業】

旧制度（推進）

申請者	熊本県熊本市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	250,000千円（81,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	TSMC関連産業の集積促進や台湾との新たな定期便の就航、ソウル・香港との国際定期便の再開など、本市は観光需要や地域経済の回復に向けた絶好の機会を迎えている。この機会を着実に本市観光産業の活性化等に繋げるための起爆剤として、新たにナイトタイムエコノミー事業等に取り組み、国内外からの観光客誘致をさらに促進し、観光産業の活性化を図ることで、地域経済の更なる発展及び雇用の確保を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ナイトタイムエコノミー企画推進事業 ・飲食などを中心とした『夜の魅力』を発信・活用するナイトコンテンツや、熊本城周辺を活用したプロジェクションマッピング等を実施（委託料）42,500千円 ○観光客受入環境整備経費 ・観光案内サインの改修計画の検討に向けた調査点検（委託料）8,000千円 ・食の多様性に関するセミナー（委託料）4,000千円 ・地域通訳案内士の認定及び研修を実施（委託料）2,000千円 ○観光客誘客促進事業 ・世代やニーズに合わせ費用対効果が高いSNS広告を実施（委託料）10,000千円 ○台湾誘客事業 ・現地旅行博出展やInstagram情報発信（繁体字）（委託料）6,000千円 ○戦略推進事業 ・観光マーケットリサーチの実施（委託料）8,000千円 ・レスポンシブルツーリズムの推進（観光ワークショップ開催経費）（委託料）1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+300億円/年） ②市内宿泊者数（+510,000人/年） ③旅行者の満足度（+6%） ④ナイトタイムコンテンツの作成数（+4回/年）	関連URL	熊本市検証委員会について https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=24969



事業概要【郷土の文化を活かした観光客誘客促進事業】

申請者	熊本県熊本市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	12,600千円 (3,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	令和8年は明治期の文豪夏目漱石が来熊して130周年にあたり、翌年は生誕160周年にあたる。熊本が誇る歴史・文化資源に注目が当たるこの機会に、文化施設の補修・改装を行うとともに、観光素材としての磨き上げや誘客の取組を通じて、熊本市を歴史文化豊かな都市として全国及び世界へPRするとともに、熊本市を訪れた観光客の県内各地域への誘客、観光などによる交流人口の拡大につなげていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 連続テレビ小説の放送を契機として、歴史的文化施設に絡めたイベントの実施、小泉八雲熊本旧居の展示リニューアル、インバウンドを想定した多言語化対応等を進める。また、交通事業者やNHKを含む各種メディア等と連携したPRを展開し、全国からの誘客を図る。 【ソフト事業経費】 熊本の偉人の認知度と関連文化施設の魅力向上 ○記念館の観光客等受入環境整備 ・八雲旧居の展示多言語化・AR展示導入（委託料）3,500千円 展示内容を英語・中国語・韓国語で表記。 QRコードでの読み取り式を想定。 八雲旧居内に、八雲の作品に登場する「雪女」や「耳なし芳一」などのキャラクターをARで観覧・撮影できるようにする。						
地域の多様な 主体の参画	・県内外の所縁のある自治体や顕彰団体、大学、企業と連携しながら、「熊本の漱石」「熊本の八雲」の文化や魅力を広くPRし、民間が自発的に誘客に活用するなど、誘客における官民連携の好循環を目指す。 ・実行委員会形式など、民間からの協賛を活用する形で持続的に開催できる体制を視野に検討を進める。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①熊本市の観光消費額（+0.6億円） ②熊本市の宿泊者数（+1,200人） ③小泉八雲熊本旧邸、 夏目漱石旧居の来館者数（+1,800人）

事業概要【熊本市動植物園サバンナエリア（開園 1 0 0 周年記念エリア）整備事業】

申請者	熊本県熊本市					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,654,000千円 (350,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	自然環境と調和のとれた快適で魅力的な動植物園を目指し、観光資源としての熊本市動植物園の魅力創出に取り組むことにより、県内外・国内外の人を呼び込み、地域経済の活性化とにぎわいの創出につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 現在の草食獣舎（シフゾウ舎～ニホンジカ舎）およびキリン舎のあるエリアについて、「アフリカの雄大な大地」を展示テーマに「サバンナエリア（開園 1 0 0 周年記念エリア）」として大規模なリニューアルを行う。 【拠点整備事業経費】 ○既存施設の解体等 ・施設整備 101,200千円 キリン舎建築工事（杭工事）を行う。 ・設備整備 94,600千円 サバンナエリアの給排水設備・電気設備等の盛替工事を行う。 ・用地造成 154,200千円 サバンナエリア伐採・撤去工事、モノレール他解体工事を行う。					 ※サバンナエリア 鳥瞰パース	
地域の多様な 主体の参画	大学と共同でサバンナエリアの混合飼育における動物福祉の向上、希少動物の新たな知見の集積、研究に取り組み、研究成果の論文投稿等に取り組む。 1 0 0 周年記念サポーター制度の提案型支援により、市民参加型のイベント等を実施し、機運を醸成し、イベント後の意見交換を行い、改善点を共有し、次回以降の取組みに活かす。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（暦年）（+450億円） ②熊本市に来訪した旅行者の満足度（+15%） ③開園100 周年に向けて目指す来園者数（+72,000人） ④「熊本市動植物園100周年記念サポーター」制度の寄附件数（+384件）

事業概要【八代の儲かるアサリ漁業のV字回復に向けた産学官連携プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県八代市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	42,037千円（18,585千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・若者を中心とした世代が、暮らし、働き、子育てできる地域を創出する。 ・スマート技術を活用した水産業の推進とブランド確立を図る。 ・漁業就業者の収益の安定化と後継者不足の解消を図る。 ・定住人口や関係人口の拡大に貢献する地域社会の構築を図る。		
事業概要・ 主な経費	○漁業収益の確保プロジェクト実証試験 ・垂下式育成の実証（委託料）4,304千円 ・オンライン直売所実証試験（委託料）4,500千円 ・ECサイトによる試験販売（委託料）1,500千円 ・八代のアサリ漁業の魅力を伝える観光漁業の実証試験（委託料）2,800千円 ○漁獲量の拡大プロジェクト実証試験 ・漁獲作業の省力化実証（委託料）2,565千円 ・アサリを保護する被覆網の付着物等の対策実証試験（委託料）1,500千円 ○研究会等の運営・支援委託 ・関係者協議4回（委託料）849千円 ・協議録作成・報告（委託料）567千円 ※経費内訳はR7年度事業費 今まで これから 稚貝 出荷サイズの成貝 粗放的管理 垂下式育成 減耗 大きく太らせて出荷		
KPI	①アサリ関連の売上額（+9,340千円） ②アサリの平均単価（+500円/kg） ③アサリの漁獲量（+5,900kg）		（効果検証） https://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji0032847/index.html
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL		

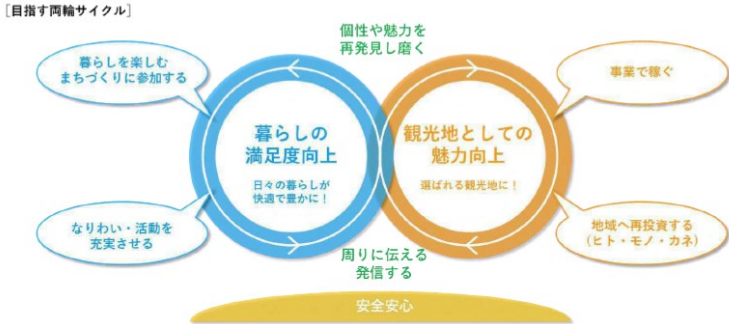
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【アジア圏への八代産品輸出促進事業】

旧制度（推進）

申請者	熊本県八代市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	65,283千円（19,269千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・デジタル技術を活用しながら、輸出に興味を持つ事業者を支援する。 ・農林水産物の輸出実績がある専門人材を登用し、輸出に興味を持つ市内事業者の訪問や助言等を実施する。 ・輸出相手国のニーズ調査等の情報分析や商流・物流のマネジメントを行う。 ・ターゲットとする市場に受け入れられる商品の開発や改良、海外での販売体制を構築する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	1. 輸出促進人材派遣事業（委託料他）【4,248千円】 輸出や商品開発等に精通した人材を事業者へ派遣する。 2. アジア圏域輸出促進事業（旅費、補助金他）【4,924千円】 海外での認知度及びブランド力向上のためトップセールスを実施。 輸出に意欲のある事業者向け支援を実施する。 3. 新市場開拓事業（委託料）【8,597千円】 海外でのニーズを集約し、新市場での販売戦略を構築する。 外国人旅行者等に対して八代産品のPRを実施する。 4. 新商品開発・改良事業（補助金）【1,500千円】 市場ニーズに応じた商品開発や改良に取り組み、中長期的スパンでの事業者支援を実施する。	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産出荷額（+17百万円） ②輸出額（+1,753万円） ③輸出品目数（+7品） ④輸出商談件数（+29件）	関連URL	（効果検証） https://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji0032847/index.html

事業概要【地域の魅力を引き出し、地域活性化プロジェクト ～ずっと住み続けたい ひとよし～】

申請者	熊本県人吉市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	378,000千円 (140,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 民間企業のノウハウや資金を活用して、地域産業の振興や新規ビジネスの創出を図り、地元企業との連携による雇用創出や企業支援を通じて地域経済の活性化が起きる仕組みづくりを行う。 - 地域資源を活用して、観光振興や地域ブランドの確立を目指し、商品開発やイベントの企画が活性化する機運を醸成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民、地元民間事業者、専門家及び行政が一体となって地域活性化、商工業振興、移住定住対策及び交流人口の増加を図るための体制・環境整備を行い、ハード整備やインフラ整備につなげていき、市民主体による持続可能なまちづくりを目指す。 【ソフト事業経費】 ・公民連携体制構築及びプロジェクトマネジメント支援事業（委託料）27,000千円 ・民間事業候補者サウンディング（委託料）3,000千円 ・ランドスケープデザイン等支援（委託料）7,120千円 ・夜間照明デザイン等支援（委託料）2,200千円 ・交通・モビリティデザイン等支援（委託料）1,200千円 ・まちづくりプロジェクト発信等支援（委託料）7,480千円 ・建築及びサインデザイン等支援（委託料）2,000千円 ・社会実験の実施、空間整備に向けた検証及び運営体制づくり（委託料）90,000千円					住み続けたい・行ってみたい・共に楽しみたいまちへ 【目指す両輪サイクル】 	
地域の多様な 主体の参画	市民・地元民間事業者と社会実験に取り組み、国・県の機関と連携を深めて、ハード整備やインフラ整備につなげていく。 具体的な取組に市民や専門家の意見を反映させるため、合同意見交換会やフォーラムを開催する。					KPI	①新規創業者数（+3人） ②事業承継件数（+3件） ③年間宿泊客数（+71,485人） ④公民連携事業数（+2件）

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【荒尾市ウェルネス拠点施設を中心とした地域経済活性化プロジェクト】

旧制度（拠点）

※PFI活用

申請者	熊本県荒尾市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	638,189千円（281,148千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	農林水産分野
目的・効果	荒尾競馬場跡地に、多くの人やモノを呼び込み地域に活気をもたらす拠点として、物販や飲食における地場製品の販売等を通じた生産者等の所得向上及び地産地消の促進による地域内経済の循環を推進する。また、複合施設として整備する、保健・福祉・子育て支援施設と連携した健康増進や子育て支援、高規格道路の発着点という立地を活用した広域防災拠点機能、地区内に立地する周辺施設との連携等、新たな価値を創造する。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	道の駅において、本市の優れた地域資源を来訪者に購入してもらい、生産者の所得向上を図ることで、働き甲斐が見出され、生産意欲の向上による経営耕地面積の拡大や今後も働きたいと考える高齢者を増加させるとともに若者を中心とした新たな担い手の発掘と育成につなげる。また、さらなる所得向上や支出の抑制につなげるため、スマート農水産業の推進や生産者同士の情報交換の場を設け、生産効率の向上や省力化のための取組を促す。 【建築物本体工事】 建築工事費（電気・機械設備工事費含む）：281,148千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①物販施設における年間売上（+583,000千円） ②物販施設におけるレジ通過者数（+458,000人） ③物販施設への出荷者数（実人数）（+200人） ④当該施設の整備を機に新規に就農漁業や起業をする者の数（+11人）	関連URL	https://www.city.arao.lg.jp/shisei/shisaku/sogo-keikaku/page4791.html

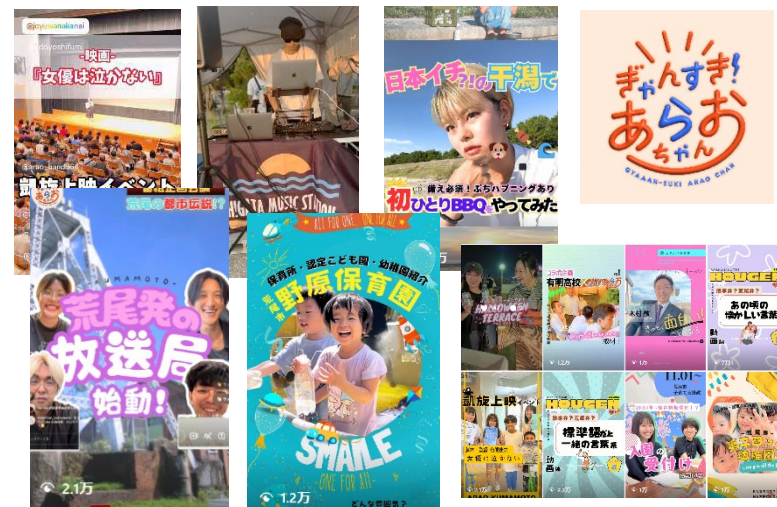


事業概要【自治体オリジナルメディアにおける地域ブランド創出事業】

旧制度（推進）

申請者	熊本県荒尾市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	30,000千円（10,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・市独自のオンライン放送局を整備し、他媒体に依存しない持続的な市内の情報発信、市内事業者や市内高校と連携して子育て世帯や若年層にむけたイベント等を実施することで、「市に対する愛着」を醸成し、市外への転出抑制やUターンの促進を図る ・若者が気軽に出会える機会の創出を通じた結婚希望の実現を図る ・市の認知度向上、ブランド力促進を通じて県内有数の認知度獲得を図る		
事業概要・ 主な経費	○市民や出身者、荒尾市に関わりのある方をターゲットとした動画、投稿コンテンツの制作（番組企画制作） ・脚本制作（脚本家人件費）・番組企画制作人件費・官民学連携に関わる人件費（自治体職員関係の人件費や旅費は除く）・事業推進要員の研修代 等（委託料）4,000千円 ○オンライン未利用者等への認知度向上のためのフリーペーパー刊行 ・デザイン制作代・印刷代・配布代 等（委託料）1,000千円 ○市そのものの地域価値向上や魅力向上にもつなげる新規イベント ・イベント企画制作人件費・イベント実施運営代・継続プランマニュアル制作代 等（委託料）4,000千円 ○デジタルマーケティング広告をつかった認知拡大 ・広告運用計画作成・運用人件費・広告運用代・WEBサイト企画制作代 等（委託料）1,000千円		
KPI	①総人口の減少値（+150人） ②20代の転入出者数の減少値（+30人） ③事業を通じた関係人口数（イベント参加者・イベント協力者数）（+1,700人） ④コンテンツリーチ数（+750,000人）	関連URL	https://www.city.arao.lg.jp/shisei/shisaku/sogo-keikaku/page4791.html

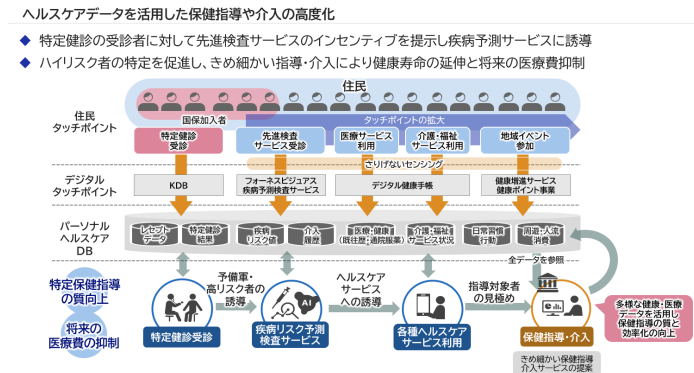
※経費内訳はR7年度事業費



**事業概要【先進技術とデジタルを活用しEBPMによる疾病予防・健康行動促進・地域医療の質向上・
効率的な見守りを促す誰もが安心して長生きできるウェルネススマートタウン事業】**

旧制度（推進）

申請者	熊本県荒尾市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	396,865千円（139,958千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・デジタル技術や先進技術を活用したサービスを本市の保健事業に落とし込み、保健事業の利便性向上・成果の定量化と分析・行政事務の効率化等を実現することで、住み良いまちを実現し、移住・定住者増を目指す。 ・事業成果からEBPMを実施するためのロジックモデルを整理し、保健事業の一部を成果報酬型委託事業に置き替え、少子高齢化の影響で逼迫する市財政の改善にインパクトを与える。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○ウェルネスサービスの高度化 ・ハイリスクアプローチによるリスク者の低減（委託料）65,111千円 ・デジタルを活用した地域医療保健サービスの質向上（委託料）27,280千円 ・ポピュレーションアプローチによる地域全体への健康行動促進（委託料）32,897千円 ○施策により得られたデータに基づくEBPM ・蓄積したパーソナルヘルスケアデータに基づく施策成果の見える化と改善サイクルの確立（委託料）14,670千円		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①地域へのUIターン者数（あらお海陽スマートタウンへの移住者数）（+180人） ②平均自立期間（日常生活動作が自立している期間の平均）（+0.3年） ③健康行動を継続的に実行している市民の割合（+6%） ④毎年、健康診断や人間ドックを受診している市民の割合（+3%）	関連URL	（実施体制） https://www.city.arao.lg.jp/shisei/machi-zukuri/smart-city/7402.html （交付金の具体的用途） https://www.city.arao.lg.jp/shisei/machi-zukuri/smart-city/6301.html （交付金の具体的用途） https://www.city.arao.lg.jp/shisei/machi-zukuri/smart-city/5484.html （効果検証） https://www.city.arao.lg.jp/shisei/shisaku/sogo-keikaku/page4791.html



事業概要【スマートカキ養殖の実装による荒尾市水産業活性化事業】

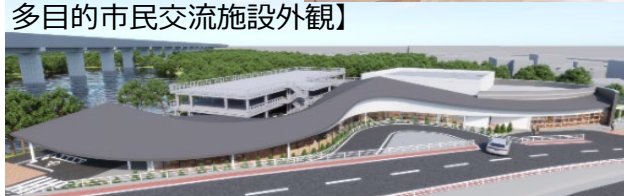
申請者	熊本県荒尾市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	37,455千円（14,685千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・スマートカキ養殖支援アプリの導入により、養殖作業の一元管理することを可能にする。遠隔指導による養殖支援を行い、スマート養殖手法の定着及び漁協の自走化につなげる。 ・漁場にスマート機器を設置し、海水温や溶存酸素等海況データを取得。学術機関によるデータ分析のほか、アプリでの作業状況管理と連動させ、養殖技術及びカキの品質向上を図る。また、高海水温化など海洋環境の変化に対応した養殖手法を確立する。						
事業概要・ 主な経費	①カキ養殖支援アプリで作業記録（在庫状況）を管理、全体共有他産地で養殖実績がある(株)リブルがアプリ情報を基に、適切な作業タイミングを遠隔でアドバイス。アプリの活用については月1、2回現地指導。 ②海洋センサーで海況データの取得、大学によるデータ分析 分析したデータを基にリブルから漁協に的確な技術指導 ・人件費謝金（漁場整備費、養殖支援員派遣、データ分析、指導等）6,820千円 ・センサー設置通信構築、通信費、アプリ経費等4,312千円					生育状況の把握、最適作業提案 - 在庫データ、生育状況などが一元管理 - どこにどのサイズの牡蠣があるか把握可能 - 作業すべきカゴを色分けで表示 - AI、機械学習などを取り入れ漁師の勘をデータ化（今後） センシング・データ化 天気・光量 気温 波の揺れ データ蓄積・分析 徳島大学と連携、蓄積されたデータを分析、海洋環境と牡蠣の生育の相関を調べ、最適な作業解を抽出	
地域の多様な 主体の参画	株式会社リブルと共同でスマート機器によるデータの収集に取り組み、作業結果の可視化や改善点を明確化することで、適切な作業実施と養殖手法の定着を図る。 さらに、徳島大学と連携して、海況データや養殖作業記録等を分析し、養殖環境の改良や最適な養殖管理手法を確立する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①荒尾市農林水産業総算出額（+30,000千円） ②カキ養殖業の売上（+5,280千円） ③荒尾漁協カキ養殖新規漁業者数（+3人） ④水産業に係る地域内学習等への参加者の延べ人数（+90人）

申請者	熊本県山鹿市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	59,100千円（10,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・大会や合宿などのスポーツコンベンション活動を積極的に展開し観光関連事業者・実業団チームとの連携による本市ならではのスポーツビジネスの創出を図ることで、交流人口の拡大による経済波及効果を高めていく ・デジタル技術を活用したこれまでにない新たな取組や“ひと”にフォーカスした取組を通じて、多くの関係者との連携を強化し、まちの賑わいづくりの中心となる人材の発掘や育成を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関係団体と連携し、これまで磨き上げてきた事業成果を反映させながら国内外へのプロモーションを実施する。また、小学校の総合学習に取り入れたプログラミング学習を継続して実施し、ICT人材の育成を図る。さらにeスポーツの交流試合等を行うことにより、交流人口の拡大を図る。 【主な経費】 ○にぎわい再創出事業（委託料）5,400千円 （1）観光誘致対策事業（コンベンション宿泊助成） （2）来訪者を呼び込むための仕組みづくり ○ふるさと未来創造事業（委託料）4,900千円 （1）eスポーツを活用したにぎわいづくり、人材育成 （2）「やまがびと」作成業務 ※経費内訳はR7年度事業費  eスポーツを活用したにぎわいづくり、人材育成 イメージ		
KPI	①観光入込客数（+493千人） ②観光宿泊者数（+159千人） ③観光消費額（+29億69百万円） ④まちゼミ参加店舗数（+12件）	関連URL	https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/kiji0031681/index.html

事業概要【宇土走潟地区かわまちづくり事業】

申請者	熊本県宇土市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	709,127千円 (38,137千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・旧河道の親水護岸整備による水辺に親しむ環境の形成や高水敷での広場、アーチェリー場の整備により、交流拠点を創生して、賑わい創出と地域の魅力向上を目指す。 ・地域におけるこどもたちの居場所や遊ぶ場を充実することで、笑顔で子育てができる住み心地のよい環境が整い、交流人口や関係人口の増加、更には移住定住につながるような好循環を生み出すことを目指す。 ・誰もが安心・安全で快適に暮らせる持続可能なまちの実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	整備面積43,599㎡の広いエリアの中で、グラウンドゴルフ場、多目的広場、高台広場、アーチェリー場、旧河道の水辺を眺められるサイクリングロード、親水護岸など多様な形態の利活用ができる、こどもたちの遊び場や人が集う賑わいの拠点施設を整備する。 【拠点整備事業経費】 宇土走潟地区かわまちづくり事業の建築工事及び設備整備工事に係る設計費 38,137千円						
地域の多様な 主体の参画	走潟地区振興協会と地域の関係者と共同で施設の維持管理に取り組み、利用者目線での施設の利活用に関する意見について、事業内容への反映に取り組む。 アーチェリー協会と共同で幅広い年代へのアーチェリー活動のサポートを行い、利用者目線での施設の利活用に関する意見について、事業内容への反映に取り組む。 グラウンドゴルフ協会と共同でグラウンドゴルフ活動のサポートを行い、利用者目線での施設の利活用に関する意見について、事業内容への反映に取り組む。 走潟小学校と共同で水辺での学習体験活動の実施に取り組み、こどもたちが主体的に学習できる環境の整備を促進する。 国交省と共同で地元の意見を傾聴しながら、事業内容への反映に取り組む。					KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①宇土市の人口（-196人） ②(仮称) 走潟親水運動広場で開催されたスポーツ大会又はイベントの回数（+10回） ③(仮称) 走潟親水運動広場で実施された水辺での学習体験活動の回数（+5回） ④アーチェリー場使用料（+260千円）

事業概要【市民みんなが健康で楽しく生涯活躍するまちづくりを目指す「スポーツ応援＆子育て応援」多目的市民交流施設整備事業】

申請者	熊本県宇土市					初回採択回	令和7年度第1回募集						
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,280,592千円 (80,181千円)						
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野						
目的・効果	本事業は、「多目的市民交流施設」を整備することで、各種スポーツ大会に出場する市内外の人やその家族、また、イベントに参加する人の交流が促進され、同時にスポーツ弱者の運動環境を改善でき、あらゆる世代の市民がスポーツを通じて生涯活躍できる機会を創出することができる。さらに、多目的市民交流施設が宇土市の新しいシンボルとして、市外からの来訪者にも「宇土市の魅力をアピールできるような施設」となり、併せて、子どもたちや子育て世代の家族を地域の多様な主体の連携により、「市民みんなで子どもたちを支える施設」「あらゆる世代が交流できる施設」として機能することで、あらゆる世代から、定住地として選ばれるまちづくりが実現できる。												
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 図書スペースや児童遊戯スペース、市民交流スペース等を併せ持った「多目的市民交流施設」を整備し、また、隣接する船場川調整池に周回ジョギングコースも整備する。 【ジョギングコース整備】 ○約1,200mの遊歩道にウレタン舗装、照明設備を設置する。 また、転落防止フェンス500m・ベンチを10個設置する。 <table><tr><td>・実施設計業務委託料</td><td>13,328千円</td></tr><tr><td>・建設費等</td><td>66,853千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>80,181千円</td></tr></table>					・実施設計業務委託料	13,328千円	・建設費等	66,853千円	合 計	80,181千円	【イメージ：子育て交流スペース】 【イメージ：多世代交流スペース】  【イメージ：多目的市民交流施設外観】 	
・実施設計業務委託料	13,328千円												
・建設費等	66,853千円												
合 計	80,181千円												
地域の多様な 主体の参画	・市民が利用しやすく親しみを感じることができる施設の実現のため、メディアに精通したプロデューサーを招聘し、また、市民等とのワークショップを開催して利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI	①人口の社会増減数（+60人） ②西部地区中学校の部活動（クラブ活動）加入率（+35%） ③多目的市民交流施設の利用者数（+8,500人） ④企業協賛金の寄付件数（+50件）						

事業概要【サーキュラーアイランドプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県上天草市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	21,194千円（5,784千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・農水産品の生産、消費・販売、食品残渣の肥料化と循環の仕組みを構築し、受入環境整備の充実を図る ・受入環境整備を充実させることにより、観光振興による関係人口の創出及び移住促進を図る ・加工品の開発、販売拡大に取り組むことで収益拡大につながり、一次産業の振興を図る ・市民のまちづくりへの参画意識を醸成し、郷土愛が醸成されることにより定住促進を図る		
事業概要・ 主な経費	○上天草市SDGs未来都市計画に沿って、前年度までに実施した維和島及び湯島での取組の状況について、市民が共有できる場を創出する「上天草市SDGsフェア」を開催するもの。SDGsに関する講演会や市長も含めてのパネルディスカッションも併せて実施予定。 ・サーキュラーアイランドプロジェクト全島化事業（委託料） 2,995千円 ○ブルーカーボンオフセットに関する取組 ・情報発信事業（委託料） 1,997千円 ・市内団体への支援事業（補助金） 600千円 ・生命の海プロジェクトバス借り上げ料 192千円 ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI	①上天草高校生の就職者のうち地元就職者数（+30人） ②市内で排出される家庭ごみ（可燃ごみ）の一人当たりの削減量（+14.85g） ③Jブルークレジットへの申請プロジェクトの件数（+6件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【天草市デジタルアートの島創造事業】

旧制度（推進）

申請者	熊本県天草市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	65,449千円（23,700千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	若者の流出抑制対策として、若者に人気で、雇用人数も見込める成長産業のゲーム・アニメ等のデジタルコンテンツ産業の創出に取り組み、同産業が地場産業として根付くことによる人材の定着と、外貨を稼ぐことで地域経済循環率の向上を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ゲーム・アニメ等のデジタルコンテンツ制作会社の誘致 ・ゲーム会社等用パンフレット作成、フォームマーケティング及びWEB面談、SNS広告、交流イベント＆視察ツアーの実施、高校生等と連携した東京ゲームショウ出展によるPR活動（委託料）3,600千円 ○ゲーム・アニメ等クリエイター育成、事業の啓蒙 ・人材の育成講座の実施、普及啓発に係るイベントの実施（委託料）5,000千円 ○デジタルコンテンツ産業人材獲得支援 ・クリエイター誘致用パンフ、PR動画の制作、CGワールド等での広告、SNS広告、クリエイター向けイベントへの出展、バスツアー型インターン開催（委託料）3,000千円 ○事業推進組織としてCG・デザイン制作会社を官民共同により設立、運営する。 ・一般社団法人デジタルアート天草の運営費（委託料）12,100千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①コンテンツ産業の市内の雇用者数（+15人） ②コンテンツ産業の進出企業数（+4社） ③クリエイター育成講座への参加者数（+90人）		関連URL https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji00312588/index.html

事業概要【林業6次産業化推進事業】

旧制度（推進）

申請者	熊本県天草市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	92,222千円（43,337千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	森林資源の利活用に伴う他産業（農水産業）と連携し、林業を中心とした次の取り組みを行い、本市の総合戦略で掲げている“天草を支える産業の発展と安定した雇用の創出”と“市民が誇りを持ち、安心して暮らせるまちづくり”の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○地域商社設立準備業務 ・1、2年目の調査、連携体制構築を受け、地域商社の設立準備を進め、市産材を活用した商品の開発、生産、販売、各教育プログラムを開始する。特に本市の特徴である豊富な広葉樹の活用が図られるよう中間土場の設置等について検討する。 （委託料）16,500千円 ○森林信託実現可能性調査業務 ・市有林を使い森林信託化を検討 （委託料）6,000千円 ○林業6次産業化検討委員会運営業務 ・林業6次産業化事業の進捗管理、事業の方向性の検討 （委託料）900千円 ○各教育プログラムを行うアウトドアパークの整備 （工事費）19,937千円		
KPI	①本交付金事業実施に伴う新規の施業対象山林面積（+180ha） ②地域の森林資源を利用した教育・木育プログラムへの参加人数（+40人） ③本交付金事業実施に伴う新規林業就業者数（副業含む）（+6人） ④本交付金事業実施に伴う市産材の搬出量（+700m³）	関連URL	https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji00311408/index.html

※経費内訳はR7年度事業費



香りが強く、これまで焙乾行程で未利用だった広葉樹の原木



木製遊具などを備えたアウトドアパーク

事業概要【天草市ブルーカーボン推進事業】

旧制度（推進）

申請者	熊本県天草市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	38,650千円（13,200千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・良質な藻場の回復を図り、本市全域のブルーカーボン事業創出を図る ・海藻増・養殖試験実証を行い、市内における海藻増・養殖の団体を増やす ・植食魚類等の駆除実証試験を行い、藻場の保全を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ブルーカーボン創出事業（委託料）7,750千円 ・現地計画の策定 ・藻場の現地調査 ・二酸化炭素吸収・固定量の推計 ・クレジット申請・認証 ・クレジット申請支援・認証にむけた検証 ○海藻増・養殖試験実証実験（委託料）3,450千円 ・トサカノリ養殖試験（五和町二江） ・トサカノリ・ワカメ養殖試験（天草町軍ヶ浦） ・ワカメ養殖試験（御所浦町横浦） ○有害生物駆除試験（委託料）2,000千円 ・有害生物（イスズミ等）の水揚げ量調査 ・有害生物（イスズミ等）の水揚げに伴う購入価格調査 ・有害生物（イスズミ等）の商品化に向けた市場調査 ・有害節物（イスズミ等）の生態調査	R6活動内容  ○ブルーカーボン創出（6.3t-co2認証） ○海藻増・養殖試験実証実験（トサカノリ） ○有害生物駆除試験（イスズミ試作品） 継続  藻場の再生・保全 （二酸化炭素の固定・吸収） Jブルークレジット 有害生物商品化 漁業所得向上	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①本交付金事業実施に伴う農林水産就労者数（+15人） ②本交付金事業実施に伴う新規の藻場造成面積（+6ha） ③本交付金事業実施に伴う新規の海藻増・養殖実施団体（+3団体） ④本交付金事業実施に伴う有害駆除実施団体（+9団体）	関連URL	https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji00311408/index.html

事業概要【選ばれる美里町（持続可能なまちづくり事業）】

申請者	熊本県美里町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	94,400千円 (47,400千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・T S M C 進出により社会情勢が急激に変化する今、人口増加、インバウンド観光客の取り込みに向けた施策を集中的に実施する。 ・地域に賑わいを創出し、持続可能な町として発展していく礎を築くことを本事業実施により目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○移住・定住の推進 ・まちづくり構想宅地開発計画図作成（委託料）14,000千円 ・移住体験施設活用移住プロモーション（委託料）5,000千円 ・美里ブランド推進プロモーションムービー制作（委託料）2,000千円 ○山間地における移動販売の強化 ・冷蔵車両2台購入費 5,400千円 ○選ばれる観光地づくり推進事業 ・美里町観光戦略策定業務（委託料）7,000千円 ・美里ランタンフェスティバル自立化実証実験（補助金）14,000千円						
地域の多様な 主体の参画	宅地開発において、地元の工務店ネットワーク等との連携を視野に調整を実施しており、移動販売において、地元コンビニエンスストアによる取組との協力関係の構築に向けた協議を実施している。 以上のように各事業において、地元の民間事業者、金融機関、地元住民等の参画に向けた調整を実施中。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本町の人口数（▲365人/年） ②入込観光客数（+3万人/年） ③宿泊客数（+3千人/年） ④美里暮らし体験住宅「いろは」の利用者数（+300人/年）

事業概要【産学官連携による地方創生“eスポーツでいい里づくり事業”】

申請者	熊本県美里町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	38,934千円 (18,784千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・本事業の実施によって、地域住民一人一人が、より生き生きと、一生涯、誰もが、活躍をすることができる場所と役割を持てる地域社会であり続けることを図る。 ・学術的なエビデンスに基づいたeスポーツを活用した事業実施により、高齢者の運動・認知機能の向上、地域内外の交流の増加による生きがいつくり、eスポーツへの理解促進、住民の健康寿命の延長を実現することにより、全ての世代がいつまでも地域の重要な構成員として活躍する持続可能な地域社会の構築を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○高齢者eスポーツ普及促進・効果検証事業 ・研究機関と連携したeスポーツ効果検証事業（委託料）10,000千円 ・地域コミュニティにおけるeスポーツを用いた介護予防事業（委託料）6,600千円 ○eスポーツを活用した交流促進事業 ・住民を対象としたeスポーツの体験事業実施費 677千円 ・eスポーツを通じた交流事業（委託料）1,298千円 ・eスポーツの練習環境の整備に係るソフトの使用許諾費 55千円 ○eスポーツを活用した交流促進事業（eスポーツの練習環境の整備に係る備品購入費）事業費 154千円						
地域の多様な 主体の参画	県内大学医学部、民間団体と連携し、eスポーツ事業に参加する高齢者に対する運動機能検査と認知機能検査を実施予定。また、取り組みに際しては、各地区の高齢者サロンとも連携し、事業実施を推進する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本町の健康寿命の延長（男性）（+1歳） ②本町の健康寿命の延長（女性）（+1歳） ③eスポーツイベント（プログラミング、交流会、講座）参加者の満足度（+10%） ④高齢者通いの場における「高齢者eスポーツ講座」の開催地区数（+3地区） ⑤高齢者通いの場の参加者数（+30人）

事業概要【女性の活躍促進とまちの魅力向上による生き生きと活力あるまちづくり事業】

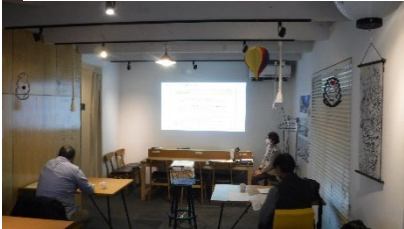
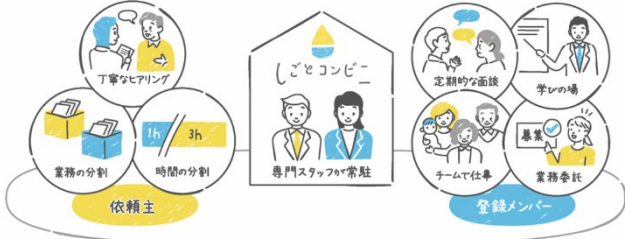
申請者	熊本県長洲町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	39,056千円 (12,800千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	- 人口減少によりまちの活力喪失が危惧される中であって、町の魅力発信による関係人口の創出、移住による地域経済の活性化を図る。 - 女性の就労に向けたスキルアップ支援・就労支援を通して、自己実現ができる魅力的な雇用を創出するとともに、子育て支援に係る施策の展開を通して女性にとって暮らしやすいまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 創業等スタートアップ支援事業等の女性の就労支援及びシティプロモーション事業による関係人口づくりに向けた取り組みを通して、町への移住・定住の促進を図り、労働人口の流出を抑止、人口減少の歯止めに資する。 【ソフト事業経費】 民間企業との連携によるオンラインを活用したデジタルスキルの習得に係るスキリング事業や、関係人口づくりに向けたシティプロモーション事業を実施する。 ・スキリング事業（委託料） 660千円 ・創業等スタートアップ支援事業（報償費・委託料） 140千円 ・シティプロモーション事業（委託料） 12,000千円						
地域の多様な 主体の参画	商工会や中小企業診断士協会、町内金融機関等と連携し、事業の周知・啓発を始め、事業実施に係るノウハウの提供、資金計画等の助言・サポートを実施する。 地元企業等の関係者による事業に対する意見、評価を実施する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①女性の創業件数（+3件） ②スタートアップ支援事業への参加者数（+7人） ③シティプロモーション活動対象者数（+2,420人） ④事業への参加によって、創業意識が向上した求職者の割合（+40%）

事業概要【地域課題の解決に資するサテライトオフィス等誘致を核とした地方創生事業】

申請者	熊本県和水町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	104,569千円 (60,279千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・地域課題の解決に資するサテライトオフィス等誘致をフックに、以下3点に取り組む。 ・①町内事業者に対して、利益をつくる支援や無駄な工数の削減・本業に専念できる体制づくりの支援を行い、その成功例を横展開することで、町全体のボトムアップを行い、地域の稼ぐ力の向上を図る。 ・②女性や若者が望む町内に新しい形の雇用やデジタルを活用した新しい働き方を創出することで、職業や働き方の選択肢を増やし、多様化するライフスタイルに幅広く順応できる環境づくりを進め、女性活躍や男性の育児参画、ひいては人口流出低減やUIターンを促進を図る。 ・③廃校をサテライトオフィス施設として有効利用することで、活力が減退した地域への新たな人流を生み出し、オフィス利用、事業者同士・事業者と地域住民等が交流等をとおして、新たなビジネスや賑わいが生まれる場とし、地域活力の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 「新たな働く拠点・賑わい創出の拠点の整備」と「誘致施策による効果の最大化」の施策を相乗的に実施し、地域の稼ぐ力の向上、女性活躍や新しい働き方の創出、地域活力の創出を図っていく。 【ソフト事業経費】 戦略的な企業誘致の展開と誘致施策の効果の最大化に資するソフト事業の実施 ・サテライトオフィス等誘致調整支援業務（委託料） 4,730千円 ・サテライトオフィス等誘致構想推進業務（委託料） 9,020千円 サテライトオフィス施設を整備 ・サテライトオフィス整備設計及び工事監理業務（委託料） 9,262千円 ・サテライトオフィス整備工事（工事請負費） 37,267千円					 サテライトオフィス施設予定地 (春富コミュニティセンター(旧：春富小学校))	
地域の多様な 主体の参画	町商工会及び町内立地企業で構成する会議体と連携し、町内事業者の課題の的確な把握と解決に向けた施策を推進し、地域の稼ぐ力の向上に取り組む。 町教育委員会や町内小中学校と連携し、町内における新たな職業・職種や働き方についての学習の機会を設け、周知啓発を行う。 町男女共同参画懇話会と連携し、女性活躍の推進を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+4人） ②サテライトオフィス等誘致数（+4社） ③女性のデジタル人材育成・確保（+8人） ④サテライトオフィス施設を拠点に複数の主体が参加するイベント件数（+20件）

事業概要【まちの人事部機能の創出による人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業】

旧制度(推進)

申請者	熊本県南小国町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	110,000千円 (24,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・新たな雇用創出に向けた事業に取組み、各産業の担い手不足解消を図る。 ・労働力の需給に関するマッチング体制を整備し、町内における人材育成の横断的な実施につなげる。 ・人材の地域内での活動を測定できる仕組みを整備することで、人材マッチングの精度向上につなげる。 ・地域で横断的に活躍できる人材を育成し、地域の課題解決や人手不足解消を図る。		
事業概要・ 主な経費	○人材流動化による新たな雇用創出事業（地域越境人材の継続的な配置） ・新たな雇用創出事業の深化・高度化（委託料）11,000千円 ・労働力の需給に関するベストマッチングを高精度で実現する体制の完成（委託料）3,000千円 ・大手企業に向けた地域越境研修のブラッシュアップ（委託料）3,000千円 ○地域越境人材データバンク事業（地域越境人材の評価・再配置） ・地域越境人材のデータバンク化（委託料）2,000千円 ・データバンクを活用した地域越境人材の新規案件組成等（委託料）2,000千円 ○企業版ふるさと納税等にかかる法人との関係構築事業 ・地域との共創を希望する企業との関係構築（委託料）3,000千円 九州初上陸！「しごとコンビニ®」南小国町で導入開始  「しごとコンビニ®」登録会の様子		
KPI	①起業及び新規事業による売上総額(+35,000千円) ②新たな雇用事業登録マッチング件数(+425件) ③地域越境人材データバンク登録人数(+240人) ④本事業実施による移住者数(+44人)		関連URL https://www.town.minamioguni.lg.jp/

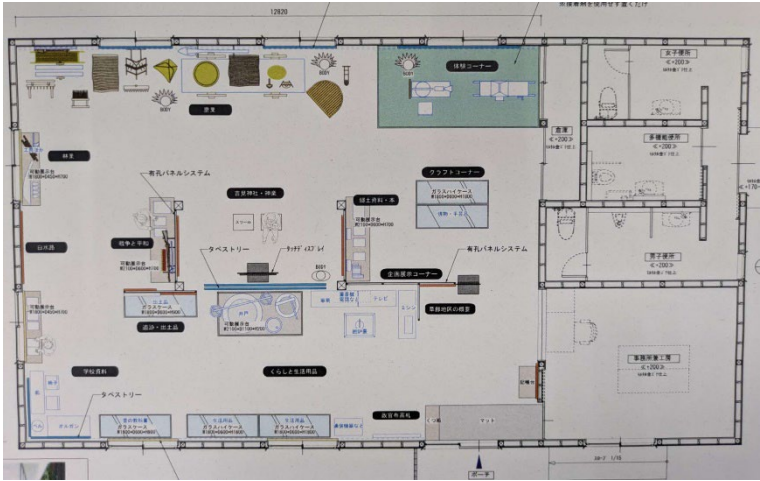
※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【観光振興・交流促進による里山魅力向上と選ばれる村づくり事業】

申請者	熊本県産山村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	36,000千円 (12,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・里山文化・高原型農山村文化の継承をテーマとした「観光」の振興と「移住定住」の事業間連携、地域資源の掘り起こし等を通して「選ばれる」地域としての魅力向上を目指す。 ・里山文化の継承に共感し、参画・協働する「関係人口」を拡大し、本村の人手不足やノウハウ不足を補うとともに、発信力を高めて移住定住先として選ばれる「好循環の仕組み」を創出し、持続可能な村づくりに寄与する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 移住希望者と地域住民がつながるコミュニティを醸成する。また、阿蘇外輪の里山文化・高原型農山村文化をテーマにしたイベントやツアー等を開催すると同時に、地域資源の掘り起こしや特産品のPRをすることで、「選ばれる」地域としての魅力を向上していく。これらの過程を通して、里山文化の継承に共感・参画する「関係人口」を拡大し、本村の人手不足やノウハウ不足を補うとともに、移住定住先として選ばれる「好循環の仕組み」を創出する。 ・観光・移住定住事業間連携（参加型・体験型交流イベントの定期的開催、滞在体験型イベント等の企画・運営等）2,400千円 ・里山魅力向上観光イベント実施（「見る、聞く、体験する」ツアーの開催、村での暮らしや人々を知る「里山講座（仮称）」の開催等）3,600千円 ・地域資源の掘り起こし・販売促進（販促プロモーションの展開、地域資源の掘り起こしによる新たな地域ブランドづくり等）2,800千円 ・関係人口拡大（デジタルプラットフォームの形成、提案型・参加型のイベントやワークショップの開催、来村の機会の創出等）3,200千円						
地域の多様な 主体の参画	地域商社の役割を担う一般社団法人が当該事業の実施、進捗管理、実績報告を行う。 様々な地域グループを当事業の事業推進に協力する任意団体として再編成し、様々なイベントやワークショップの開催、地域資源の掘り起こしによる商品開発等における協力・参画を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①一人あたりの観光消費額（+1,200円） ②空き家バンク契約成立数（+6件） ③出生数（+6人）

事業概要【草部郷土資料館デジタル展示・体験館整備事業】

申請者	熊本県高森町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	19,124千円 (19,124千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・草部郷土資料館をリニューアルし、デジタル展示や農具や民具を用いた体験コーナーを設置することで資料館の入館者増加を目指す。 ・隣接する草部吉見神社への訪問者を増やすとともに地域のにぎわいを創出し、地域コミュニティの強化をはかる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 草部郷土資料館の展示室を改修し、野尻・草部地区に残る民俗資料・考古資料を整理・保存・展示を行う。また、訪日外国人旅行者には、神社・神楽などを通じて、日本文化を伝え、小中学生にはこの地域で行われた農業体験を迫体験ができるよう学びの場を提供する。 【拠点整備事業経費】 ○草部郷土資料館の展示室の整備 ・施設整備15,736千円（電気・空調・展示工事） ・備品整備 2,495千円（展示備品工事） 【ソフト事業経費】 草部吉見神社に伝わる民俗芸能の映像コンテンツの収録や考古資料（短甲）の3Dデジタル化を図る。 ・ソフト事業 893千円（3次元計測及びPR映像制作）						
地域の多様な 主体の参画	草部郷土資料館の管理・運営は、認可地縁団体である「草部活性化委員会」が担う。その構成員は駐在区、商工会など地域総がかりで対応していく。ソフト事業については、文化財の保存も兼ねていることから町教委が行う。企画展示に係るパネル作成やチラシ作成の費用については、民間企業からの協賛金で賄う。このほか、町観光推進機構、町ケーブルテレビ、旅行会社の協力を得ながら、農業体験メニューの磨き上げや阿蘇地域全体の教育旅行の商品開発を行う。					KPI	①野尻草部地区の訪日外国人旅行者数（+96,000人） ②草部郷土資料館の来館者数（+63,401人） ③草部郷土資料館へ見学する学校団体数（+46校） ④物産品・文化財関連グッズ販売収入（+10,710千円）

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【甲佐町商店街を中心とする中心市街地の活性化プロジェクト】

申請者	熊本県甲佐町					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	28,923千円 (17,300千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	甲佐町の住民、商工会、商店事業者、地域づくり団体などが連携・協力して、魅力ある商店街づくりと商業の活性化を図る。また、商店街の空き店舗等を活用した企業誘致を推進し、地域の特性を生かした起業支援を行うことで、交流人口、関係人口、定住人口を増やし、本町の人口減少数を抑制し、活力にあふれたにぎわうまちづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【ソフト事業経費】 ○甲佐町中心市街地活性化計画の推進 ・中心市街地活性化プロジェクト会議等の開催 (事務費) 500千円 ・認知度向上のための情報発信 (委託料) 1,000千円 ・事業者向け研修等 (委託料) 3,500千円 ○商店街魅力発信人材育成 ・人材育成のDX等研修 (委託料) 200千円 ・備品購入 700千円 ○交流人口拡大 ・シティプロモーション (委託料) 3,000千円 ・交流人口拡大事業 (委託料) 2,100千円 ・やな場整備事業 6,300千円 ※経費内訳はR7年度事業費					The diagram illustrates a circular relationship between four main stakeholders: Residents (住民), Shopkeepers (商店事業者), Town-making Organizations (まちづくり団体), and the Commercial Association (商工会). These stakeholders are all connected to the central town of Kasa (甲佐町). A large yellow arrow points from the current state (left) to the revitalized state (right), indicating the goal of the project.	
地域の多様な 主体の参画	商工会及び商工事業者などの関係機関と連携を図り、町経済の活性化に取組むとともに、交流人口・関係人口の増加に向けて協力も仰ぐ。 また、行政機関、教育関係（地元小・中・高学生など）、地方銀行、地域団体などからもアドバイスを頂きながら、商店街の活性化に向け、積極的に取り組む。					KPI	①地域の人口 (▲777人) ②商店街と一体となったイベント等に参加した観光客数 (+1,000人) ③商店数 (+5店舗)

事業概要【産業人材育成事業】

申請者	熊本県甲佐町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	43,500千円 (14,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・産業人材育成プログラムを実施し、産業人材を育成することで、起業者数及び地元就業者数の増加を図る。 ・IT及び通信系起業家等を町に呼び込み、連携することで、デジタル人材の育成や起業人材と学生人材を中心とした起業意欲の向上や地域産業の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町が甲佐高校と連携して地域の課題をビジネスモデルを通じて解決策を講じる産業人材育成プログラムを実施する。また、IT及び通信系の起業家等を中心市街地拠点施設等に呼び込み、デジタル技術などを地域に波及させるとともに、町内で新たに創業や新分野に進出する者に対する支援策を講じる。 【ソフト事業経費】 ○産業人材育成プログラム ・産業人材育成（委託料）5,000千円 ○産業立地・人材養成等支援事業 ・産業立地・人材養成等支援（委託料）6,500千円 ○創業支援事業 ・創業支援（補助金）3,000千円						
地域の多様な 主体の参画	中心市街地拠点施設の指定管理者に交流イベントやセミナー等開催してもらい、参加者の起業意欲の向上や地域産業の活性化につなげるとともに、商工会等、地域内での連携を促進する。 甲佐高等学校の授業で起業家教育を実施し、地域との連携を通して起業家精神を持った産業人材の育成を図り、起業者数の増加につなげる。					KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①起業者数（+2人） ②産業人材育成プログラム受講者の町内企業に就職した人数（+2人） ③人材育成セミナー・交流イベントへの参加者数（+110人） ④中心市街地拠点施設への入居者数（+4件）

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【「選べる暮らし」創造プロジェクト】

申請者	熊本県芦北町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	27,285千円 (14,195千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・二地域居住や転職なき移住をテーマとした施策を通じて、芦北町のことを「自分ごと」として捉える「深い関係人口」を創出し、一過性ではない長期的な関係を持った人を増やす。 ・地域DX推進等による生産性向上と、それに伴う従業員の待遇向上、女性や若者が働きやすい就労環境の整備を行い、若者や女性に選ばれる働く場づくりを行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「転職なき移住」「二地域居住」をテーマに、中長期滞在型プログラム等を実施し、外部との接点を強化することで「深い関係人口」の構築する。また、芦北町に集積する進出企業と地場企業の融和を進め、DX推進や働き方改革の支援を通じて、若者や女性に選ばれる「働く場」づくりを推進する。 【ソフト事業経費】 ○二地域居住体験事業 ・委託料 2,200千円 ・通信費 95千円 ○組織横断型研修プログラム構築事業 ・委託料 600千円 ○サテライトオフィスに子供連れで利用できるスペースを整備 ・施設整備費 7,500千円 ○芦北町ビジネスフェア事業 ・補助金 500千円 ○中小企業経営DXモデル事業 ・委託料 3,300千円						
地域の多様な 主体の参画	芦北町商工会と連携して町内企業の抱える課題を洗い出し、地場企業の事業参画を促す。 進出企業は外部の観点、ノウハウを活かして地域課題解決に向けた企画立案、PDCAサイクルの構築等の助言を行う。 これまでに転職なき移住・二地域居住を実現した移住者、大学の学識者、研究室と連携することで、学生や移住者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①地域へのUIターン数(増加分) (+15人) ②テレワークセミナー及び人材育成セミナーの受講者数 (+200人) ③25歳～44歳の社会増減数 (+15人) ④事業を通じたテレワーク就業者数 (+15人)

事業概要【宿泊交流拠点整備による交流促進プロジェクト】

旧制度（拠点）

申請者	熊本県津奈木町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	630,000千円（235,208千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	つなぎ温泉四季彩を宿泊交流拠点として整備することで、地域資源を活用した交流の促進やフロント的機能の拡充、地域の滞在力を向上させる。また、宿泊交流を基軸として近隣エリアとの連動性や広域エリアとの回遊性を高めることで経済的波及効果をもたらす。さらに、サテライトオフィスなどIT人材と地域産業が連携する空間を提供することで、観光業だけでなく多様な産業のデジタル活用を促進する。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	つなぎ温泉四季彩管理棟に新たに宿泊、飲食、物販、サテライトオフィスを設け、宿泊交流拠点としてリノベーションする。宿泊交流を基軸として観光業の活性化や新たな観光産業への参入を促進する。またICTを活用したサービスの創出や地域ブランディングを推進し、起業や雇用の創出に繋げる。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築工事費】71,749千円 【建築物と不可分な設備工事】電気設備15,517千円 給排水設備36,831千円 【工事監理】7,500千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【宿泊交流整備工事（厨房機器、無線LAN等）】87,904千円 ○効果促進事業（ソフト事業）の内容 【宿泊交流設備工事（サテライトオフィス家具等）】15,707千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（全体）・・・（+183,868千円） ②観光入込客数（宿泊）・・・（+2,000人） ③宿泊付アートツアー造成数・・・（+10件） ④サテライトオフィス入居企業数・・・（+3社）	関連URL	https://www.town.tsunagi.lg.jp

事業概要【観光コンソーシアム推進プロジェクト】

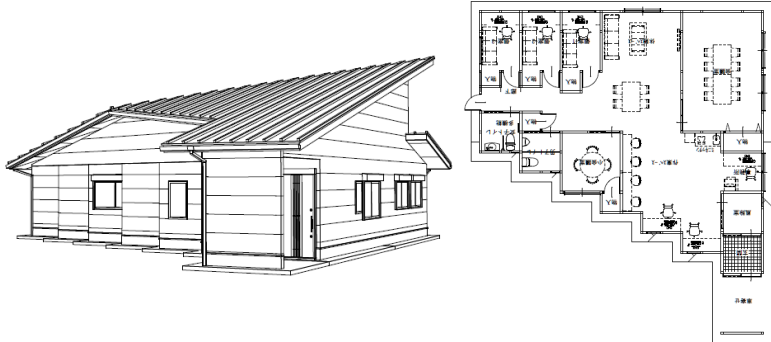
申請者	熊本県津奈木町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	111,700千円 (39,100千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・町と町経済団体等で観光推進協議会を設立し、町全体で観光振興を推進するための基盤を確立する。 ・協議会事業として町内事業者の商品開発等の支援を行うとともに、PRイベントの実施など異業種等連携事業を実施し、町の基幹産業である第一次産業と観光産業との連携強化を図るとともに、町の稼ぐ力を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光推進協議会を設立し、新たに整備した宿泊交流拠点等と連携して観光商品の造成と町のセールス・PRを推進し、観光産業と第一次産業を軸として町への新たな人の流れを生み出し、町の稼ぐ力を創出する。 【ソフト事業経費】 (1) 観光推進協議会設立・運用 4,500千円 ・協議会設立・運用（事務職員人件費、旅費、消耗品費） ・施設予約サイト等構築 (2) 観光PR及びセールス 11,100千円 ・都市圏観光物産展委託 ・都市圏PRイベント委託 ・PRイベント実施委託 ・ディステーションキャンペーン実施委託 (3) 観光物産商品造成及び販売促進費 19,900千円 ・公募型及び指定管理者連携型商品造成委託 ・商品PR・販売促進マネージャー配置委託 ・観光ツアー実証委託 (4) 情報発信 3,600千円 ・WEBメディア等活用広告費						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	新たに整備する指定管理事業者等との連携を軸として、町内事業者や生産者、商工会などの経済団体等と協働して観光商品・サービスの開発や販売促進・セールスに取り組み、町全体で観光振興を図るための連携体制を構築する。					KPI	①町における観光消費額（+1.5億円） ②観光入込客数（+29,100人） ③商品・サービス造成数（+24個）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【コンパクトSDG s スタディプログラムプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	熊本県錦町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	50,204千円（17,424千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	観光拠点施設である錦町立人吉海軍航空基地資料館を核に、SDG s をテーマに町内の周辺企業と連携を図り、学習プログラムを策定し、教育旅行商品として販売する。教育旅行や社会科見学を受け入れることで、観光入込客数の増加、町全体への回遊、観光消費額を増加させ、地域における新たな「しごと」を創出し、人口減少を抑制する「まち」を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 1 SDG s を核とした新たな教育旅行プログラム開発計画（委託料） ・教育旅行プログラム造成及び動画制作の実施、ロードマップの作成、オンラインツアー実施。 5,852千円 2 選ばれる教育旅行コンテンツ事業（委託料） ・関係団体との販促に向けた情報交換、教育機関向けプロモーションの実施、商談会への参加、旅行事業者営業キャラバンの実施及び交渉 2,838千円 3 高付加価値が磯強化事業（委託料） ・ガイド育成講習・認定テストの実施、FIT旅行事業者向けオンラインツアーの実施、FIT向けネット販売サイトへの商品登録。 1,936千円 4 DXを用いたエリアマーケティングによる認知促進事業（委託料） ・前年度 P D C A 結果を反映した、マーケティング及びエリア、ターゲットを絞ったデジタル及びメディア広告の実施、検証。 6,798千円		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	①修学旅行及び社会科見学の催行数（+72校） ②学習プログラム数（+4個） ③町内観光消費額（+307万8千円）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.kumamoto-nishiki.lg.jp （効果検証） https://www.town.kumamoto-nishiki.lg.jp
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【交流・関係人口創出のためのサテライトオフィス等整備及び利用促進事業】

申請者	熊本県湯前町						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	90,699千円 (65,699千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ
目的・効果	・サテライトオフィス等の整備と情報発信事業の相乗効果により湯前町の知名度を全国的に向上させるとともに、地域内外の交流の場を増やすことで地域の活性化を図る。 ・企業のサテライトオフィスなどを誘致し、地域活性化と新しい雇用の創出、地域経済の活性化を図る。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○情報発信に関する事業 ・認知度向上に向けたプロモーションの実施（委託料） 3,600千円 ○企業誘致促進事業 ・ビジネスカンファレンス及び定期交流会の開催（委託料） 2,300千円 ・企業誘致モニターツアー等の実施（委託料） 6,350千円 【拠点整備事業経費】 ○サテライトオフィス及びコワーキングスペースを整備 ・施設整備 49,949千円 ・備品整備経費 5,500千円						 完成イメージイラスト（案）及び平面図（案）	
地域の多様な 主体の参画	指定管理者と湯前町商工会及び湯前町観光物産協会が連携し、企業とのマッチングイベントや、観光客等の域外からの来訪者受け入れに向けた整備を行う。 また、サテライトオフィス等の運営に当たっては域外からくる企業等と地元住民とが交流できる場を創出するとともに、施設の利用促進に向けた取り組みを行うとともに、区長会と連携し、区民から利用者目線での意見を聴取する。 観光プロモーションに係る情報発信事業を実施し、町の知名度を上げるための効率的なプロモーションを町・関係団体と連携しながら実施する。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客数（+100,000人） ②サテライトオフィス及びコワーキングスペース利用者数（+3400人） ③企業誘致数（+11件）

事業概要【水上村陸上競技場整備事業】

申請者	熊本県水上村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,698,500千円 (739,900千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 当施設の整備により、今まで以上の質の高いスポーツ合宿の実現による交流人口・関係人口の獲得と拡大を目指す。 - 通年で人を呼び込み、村内事業者の安定した収入・雇用創出を目指し、「住まいと雇用」をセットに、トータルのな移住定住施策の実現へつなげ、本村の一番の課題である人口減少の食い止める。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 スポーツ合宿者が滞在する、湯山温泉郷（旅館・民宿が軒を連ねるエリア）周辺に400mトラック（陸上競技場）を整備し、トラック内にはサッカーコート設けることで、陸上競技者だけでなく、サッカーやラグビーを始めとした多種多様な競技の合宿誘致をかなえることができる。 【拠点整備事業経費】 陸上競技場を整備 - 整備工事実施設計（委託料）50,000千円 - 建築工事実施設計（委託料）9,300千円 - 造成工事監理（委託料）600千円 - 設備整備（造成工事）680,000千円						
地域の多様な 主体の参画	スポーツ界に精通した民間事業者を指定管理者による運営と、スポーツ教室等を自主開催してもらい利用者の増加等につなげるとともに、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。 著名なチームや多様なスポーツアスリートと村内の義務教育学校の児童生徒との交流を創出し、キャリア教育へつなげる。 住民向け健康増進事業や地区のスポーツイベントで当施設を利用。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用創出者数（+4人） ②村内年間宿泊者数（+2,000人） ③当施設利用者数（+1,500人） ④記録会・新規イベント開催件数（+4件）

事業概要【水上村スポーツサイエンスセンター（仮称）整備事業】

申請者	熊本県水上村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	668,800千円 (668,800千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・廃校を宿泊施設へ改修し、単なる宿泊施設ではなく、スポーツサイエンス事業、食育事業、健康睡眠事業を展開し、「健康増進」という高付加価値を兼ね備えた施設へ整備することで、合宿、観光滞在者、住民の健康寿命延伸へつなげる。 ・今まで以上の質の高いスポーツ合宿の実現による交流人口・関係人口の獲得と拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 廃校を宿泊施設へ改修し、スポーツ合宿等の受け入れ態勢を拡大させる。 単なる宿泊施設ではなく、①スポーツサイエンス事業②食育事業③健康睡眠事業（官民連携による「健康睡眠」を通した健康的な生活をサポート）の3つの事業を展開し、合宿や観光滞在者に対し、「健康増進」という高付加価値を兼ね備えた施設整備を行う。 【ソフト事業経費】 当施設の完成に伴い、PR用パンフレットを製作 ・PRパンフレット制作費 500千円 【拠点整備事業経費】 廃校をスポーツサイエンスセンター(仮称)へ改修 ・改築工事監理委託料 7,300千円 ・施設整備 550,000千円 ・備品整備 111,000千円						
地域の多様な 主体の参画	スポーツ界に精通した民間事業者を指定管理者による運営と、村と協働の体験会を創出し、利用者の増加等につなげるとともに、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。 著名なチームや関連企業と義務教育学校の児童生徒との交流を創出し、キャリア教育へつなげる。 行政区ごとの健康増進事業等で当施設を利用。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光・合宿による経済効果（+24,000千円） ②村内年間宿泊者数（+2,000人） ③スポーツサイエンス事業利用者数（+1,000人） ④陸上以外のスポーツ合宿チームのべ数（+62件）

事業概要【旧岩野小学校を活用した官民連携水耕栽培施設整備事業】

申請者	熊本県水上村						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	50,000千円 (11,200千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業		事業分野	農業水産分野
目的・効果	本村でもアクセスに優れた廃校を農業施設として転用・活用し、最先端農業施設（水耕栽培施設）を導入することで、新たな雇用創出や、教育の場としての活用、観光農園による観光客の増加、若者への農業関心を高め、将来の担い手の育成・確保を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 旧岩野小学校を農業施設として転用・活用し、本村と包括連携協定を締結した、植物工場の企画や栽培システムの研究等を手掛ける株式会社ハンモが、進出を機に設立される子会社により、ハーブ類、レタス、夏イチゴ等の生産を目指した最先端農業施設（水耕栽培施設）を導入する。 【拠点整備事業経費】 廃校（旧岩野小）を官民連携により水耕栽培施設へ整備 ・施設整備 2,500千円 ・設備整備 19,901千円							
地域の多様な 主体の参画	進出企業への村企(起)業誘致促進補助金を通した、官民連携による地方創生の加速化。生産物の販路に関する協議、既存観光メニューと組み合わせた観光造成等において協働で推進。 村内義務教育学校の該当学年に体験授業を創出。 村内雇用を推進するうえで、行政区独自のネットワークを活用し、雇用できそうな方の情報提供。						KPI	①生産物の売上（+2.4億円） ②体験授業の年間実施数（+2回） ③観光農園の年間来園数（+4,854人）

事業概要【川辺川賑わい創出拠点整備事業】

申請者	熊本県相良村						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	888,192千円 (477,932千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	- 日本一の「川辺川」を満喫できるスポットに、交流拠点施設を設置し観光客や交流人口・関係人口の増加による新しい賑わい創出を図る。 - 川を活用した取組・体感できる施設整備により、相良村の発信力を高め、経済や観光への好循環を生み出すことを目指す。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【拠点整備事業経費】 相良村の魅力・情報発信の機能、地域住民の集いの場、交流イベント等が実施できる場、伝統的漁法である鮎やな場、川辺川のほとりのできるキャンプ場、川辺川でのアクティビティ、川辺川の生物を身近に観察できるイベント、川辺川の自然環境を楽しむことができる親水広場、地域住民の健康促進機能など交流の拠点となる施設を整備する。 - 施設整備 232,870千円 - 用地造成 245,062千円							
地域の多様な 主体の参画	施設の指定管理者に利用者の増加や地域住民との関係性構築につながるイベントを開催してもらい、事業報告会において報告書の内容を踏まえ改善点を明確化し、事業内容への反映に取り組む。また、相良村教育委員会からは地元学生や学校機関からの情報提供、イベントへの参加、農業協同組合からは金融機関目線での施設の利活用に関する意見を提供してもらい、事業内容への反映に取り組む。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込客数 (+12,500人) ②新規雇用者数 (+18人) ③地域物産等販売高 (+790千円) ④新規参入企業者数 (+2者)

事業概要【四浦拠点施設整備事業】

申請者	熊本県相良村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	122,440千円 (22,700千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 多様な世代（高齢者、子ども、若者、障がい者等）が気軽に集うことができ、誰もが生き生きと活動・交流等ができる、地域活性化となるよう、「ひと」×「もの」×「こと」をつなげ支え合う「地域の縁側」を目指す - 交流人口増加が見込まれ、農産物などの地域資源を活用した農業振興、雇用創出、村内だけでなく村外の住民の交流を促進する機能を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域住民が気軽に集える場、地元で生産された野菜やそれを使った弁当などを売り買いできる販売所、相良村四浦出張所の機能、四浦地区に伝わる伝統文化の体験イベント、趣味や特技を活かしたミニ講座、高齢者が活動する介護予防運動、公共交通サービスの地域拠点（コミュニティバスの待合所など）、観光面での交流人口拡大につながるなどの施設を整備する。  第1回ワークショップ  第2回ワークショップ 【拠点整備事業経費】 ・実施設計 22,700千円						
地域の多様な 主体の参画	施設の指定管理者に利用者の増加や地域住民との関係性構築につながるイベントを開催してもらい、事業報告会において報告書の内容を踏まえ改善点を明確化し、事業内容への反映に取り組む。また、相良村教育委員会からは地元学生や学校機関からの情報提供、イベントへの参加、農業協同組合からは金融機関目線での施設の利活用に関する意見を提供してもらい、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込客数（+17,000人） ②新規雇用者数（+18人） ③地域物産等販売高（+9,700千円） ④新規参入企業者数（+3者）

事業概要【あさぎり町の地域資源を活用した共創を軸とした町民活躍のまちづくり】

旧制度（推進）

申請者	熊本県あさぎり町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	35,800千円（13,700千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 未来を共創するプログラムを通じて地域人材を育てることで、学生～社会人(域外含む)、主婦、移住者など、これからの地域を担う町民がともに学び、共創を通じて自らの手で暮らしを豊かにできる人を増やすまちづくりを推進。 - 関係人口/移住人口施策を強化するとともに、上記の町民活躍を支援するプログラムと連携し、地域の担い手を増やすことで、課題解決や魅力創出を推進。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	「あさぎり町で繋がり、挑戦する」ことを目的とした未来共創プログラムを推進し、関係人口を増やすとともに、地域の魅力化に取り組むまちづくり人材を増やす。 (具体事業) ○未来共創拠点を核としたまちづくり人材の育成プログラム「未来共創カレッジ」の推進 - 未来共創カレッジ開催経費（委託料）8,100千円 ○未来共創拠点および関係/移住人口創出にかかるシティプロモーションの実施 - SNS向けショート動画シリーズ制作、特設サイト運用、記事制作経費（委託料）2,600千円 ○共創拠点のPR、短期滞在での関係/移住プログラムの実施 - 関係/移住人口創出プログラム実施経費（委託料）3,000千円 あさぎり町テレワーク施設ALOT（未来共創拠点） 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域のUIターン数（+13人） ②関係人口創出数（+587人） ③共創イベント/ワークショップ開催数（+127回） ④関係人口創出インターンシッププログラム（+5回）		関連URL 令和7年6月公表予定